

ISSN 1342-5935

IPSHU 研究報告シリーズ
研究報告 43

『ゆうかりの友』関連 原邦彦資料目録

松尾雅嗣 谷整二
(編)



February, 2010

広島大学平和科学研究センター
730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL: 082-542-6975
FAX: 082-245-0585
E_mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/>

© 2010 : 広島大学平和科学研究センター
730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL : 082-542-6975
FAX : 082-245-0585
E_mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://home.hiroshima-u.sc.jp/heiwa/>

IPSHU 研究報告シリーズ.
研究報告 43

『ゆうかりの友』関連 原邦彦資料目録

松尾 雅嗣
(広島大学平和科学研究センター)

谷 整二
(広島大学文書館)

編

目次

前書き	i
『ゆうかりの友』関連原邦彦資料目録	1
1 一般資料	3
2 アンケート回答	15
3 書簡類	21
画像	29

前書き

はじめに

この資料目録は、「広島県立広島一中被爆生徒の会」が 1974 年に発行した被爆の記録文集『ゆうかりの友』の資料収集、編集、発行の中心となって活動した原邦彦が保管していた関連資料の目録である。本資料は、わが子を失った遺族と被爆し友を失った生徒の生の声を記録したものとして貴重なものであるとともに、被爆の実態を後世に伝えるべく努力した一人の被爆者の記録として重要である。

資料について述べる前に、まず原邦彦の活動を中心に略歴を記す。以下、本文に関係する資料の画像がある場合、(HK0033) の形で資料番号を、(画像 3) の形で目録末尾に付した画像番号を示した。

原邦彦は、原守夫・良子夫妻の長男として 1932 年に広島市上幟町に生まれた。父の守夫は原家の次男であり 6 人の兄姉弟がいた。守夫は広島本通り商店街で「ぬのや」という衣料品店を経営していた。守夫の弟、邦彦の叔父に「夏の花」の作者である原民喜がいた。次頁に略歴を示す。

邦彦は広島偕行社附属幼稚園の保育を修了して広島偕行社附属済美学校を卒業し、広島一中に入学した。邦彦は、1945 年 8 月 6 日の広島原爆投下時に、広島県立広島第 1 中学校一年生であった。8 月 6 日当日は、一年生 320 名のうち 307 名が出席し、6 学級のうち奇数学級の 3 学級は、学校の近くの市役所裏（爆心地から 1000～1100m）の建物疎開作業に従事し、偶数学級の 3 学級は交代要員として学校の教室（爆心地から 800～900m）で待機し、自習などをしていた。学校内外で全員が原子爆弾に被爆したが、原邦彦は第 16 学級だったから教室内で被爆した。建物疎開作業に従事していた教員と奇数学級生徒は、全員が翌年までに死亡した。教室内に居て倒壊校舎から出火する前に脱出した生徒のうち 19 名が翌年登校した。結局、出席者 307 名のうち、288 名が死亡し、19 名が生存した。原邦彦はその 19 名のなかの一人である（画像 1）。

原守夫・良子夫妻そして邦彦は、民喜と深い関係があり、被爆後邦彦が避難していた佐伯郡八幡村に民喜も避難しており、暫く生活をともにした。邦彦の長

女、守夫にとっては初孫に、民喜の詩「永遠のみどり」からとって、守夫が「みどり」と名づけている。今日、広島市にある同じ墓に守夫夫妻と民喜夫妻と邦彦の五人の遺骨が納められている。

原邦彦略歴

年月日	事項
1932 05 04	広島市上幟町に生まれる
1939 03	広島偕行社附属幼稚園の保育修了
1945 03	広島偕行社附属済美学校卒業
1945 04	広島県立広島第一中学校入学
1945 08 06	広島県立広島第一中学校校舎内で原子爆弾に被爆 友人宅に避難
1945 08 13	広島県佐伯郡八幡村に避難、療養
1946 02	復学し登校
1951 03	広島県立国泰寺高等学校卒業
1955 03	同志社大学経済学部卒業
1955 04 以降	家業の「ぬのや」を継ぐ
この間	結婚 長女みどり誕生
1967	慰霊祭および遺族と生存生徒との懇親会開催世話 以後、世話活動が続ける
1971	世話人の一人として「済美之碑」を建立
1974 05 01	『ゆうかりの友』発行
1975 10 25	死去 享年 43 歳

邦彦には 6 人の弟妹がいる。そのうち国民学校児童であった三男の文彦は済美学校で被爆死した。次男の時彦は、1951 年に自殺した民喜が守夫に宛てた遺書により、現在、民喜の資料を管理していて、広島で毎年原民喜を偲んで開催されている花幻忌にも、深くかかわっている。

広島一中は戦後新制高校の鯉城高校となり、さらに学区制施行時に国泰寺高校となった。制度も校名も変遷したが、一中の時からと同じ校舎で学び国泰寺高校から同志社大学経済学部に進んだ。卒業後は、折からの就職難もあって広島に帰り家業の「ぬのや」を継いだ。

1967 年、生き残った 19 名の友の相次ぐ死を目前にして、遺族に対する辛い気

持ちを整理して、生き残った当時の一年生とともに、慰霊祭に協力し遺族と生存生徒との懇親会開催の世話を始めた。「ぬのや」と原邦彦がその世話活動の中心になり、1967年9月17日に慰霊行事と懇親の会を開催した。出席申込者は87名であった。邦彦たちは、以後、引き続いて世話活動を続けていくが、これらの諸活動を経て『ゆうかりの友』が発行されていくことになる。

原邦彦は、また済美学校の卒業生として、「ぬのや」内を済美学校同窓会事務局とし、他の役員とともに「済美之碑」建立に尽力する。この済美学校は軍人の子弟を教育するための学校であったので、戦後は廃校になった。三男の文彦がこの済美学校で被爆死したことは前述したが、この学校の被爆後の状況は峠三吉の詩「墓標」に表現されているように荒れていた。邦彦は他の世話役とともに済美校友会名簿（画像18）を作成し、寄付金2,145,000円を集め、1971年に「済美之碑」を建立した（画像3）。邦彦の手元にある名簿には、卒年、旧姓、氏名、住所を、会計簿には月日、地区、卒年、氏名、受付番号、金額等が詳細に記録されている。

1 『ゆうかりの友』発行の経緯と内容

広島一中の原爆による死者は、1954年に広島一中遺族会が発行した『追憶』に記載されている名簿によると、一学年286名、二学年2名、三学年55名、四学年6名、教官10名、計359名である（この名簿については、その後若干の変動がある）。

これら三百数十名の教職員と生徒の遺族によって構成される広島一中遺族会は、終戦の翌年1946年の秋、宮島沿線の地御前において、わが子の消息を求め、あるいは思い出を語り、慰めあい、励ましあったのをはじめとして、以後60余年間途絶えることなく慰霊祭を催してきた（画像3、他にHK0032, HK0035, HK0038, HK0039などの報道あり）。その間、記録集『追憶』が発行され、同じ1954年に、この『追憶』の25万1000余字の原稿が、再編集されて『星は見ているー全滅した広島一中一年生・父母の手記集ー』（秋田正之（編）、鱒書房）として出版され、現在第3刷が出版されている（原稿の所在は定かでない）。

1945年12月に就任した数田猛雄校長は、翌年の1946年に、校舎内で被爆したのち脱出して生存し2年生に進級していた18名(19名のうち一名は転校)に、手記を書くよう求めたところ、16名が書いて提出した。これらの手記は『倒壊校舎脱出手記』として1962年に発行された(画像4)。この手記は後に『ゆうかりの友』に再録される。

『ゆうかりの友』は1974年5月1日に発行された。原家所蔵の『ゆうかりの友』(画像5, HK0001)には、父守夫の思いと、守夫の転記した邦彦の病床詠が貼り付けられている(画像6, 7)。画像8(HK0033)に出版に対する反響の一端を示す(HK0036, 0037など参照)。

上述の『追憶』と『星は見ている』は一中遺族会が、そして、『倒壊校舎脱出手記』は元校長が発行した。これらと異なり、『ゆうかりの友』は、生き残った生徒達が発行したものである。広島一中の原爆被災の記録を残しておきたいという機運は、74年の出版の数年前から生まれていたようである。これは新聞報道からも窺うことができる(画像9、10、HK0031も参照)。これについては、原邦彦自身が『ゆうかりの友』のはしがきに次のように記している。

「生き残った生徒達は、亡くなられた生徒のご遺族にお会いするのがつらくて、常に避ける様にしていたのですが、その生徒達の中からも数年後には死者が出たのです。

被爆して5年後には、生き残りの中から、楠木哲君が出血の止まらない病気のため亡くなり9年6ヶ月後には、広島大学卒業目前にして三谷浩正君が肉腫で亡くなったのです。そして昭和42年2月には、中島清秀君が、妻君と二人の愛児を残して、白血病のため、同級生の医師、寄田亨君にみとられて亡くなりました。

歳を追って、無気味に倒れていく友人の姿は、私達にとって相当なショックでした。

中島君の追悼会の席上、集まった旧友一同は、被爆後20数年を経た今日に於いて、広島一中遺族会の皆様が記された「星は見ている」に続くものとして、当時の一中の被爆実体を明らかにするとともに、生存者の手記を含めた広島一中原子爆弾被爆の記録を遺して置きたいと決意したのです。」

この後、『ゆうかりの友』の中心部分となる遺族のアンケートを依頼する作業が始まる。画像11にアンケート依頼状、12にアンケート回答用紙を示す。

『ゆうかりの友』は次の6部から成っている。

脱出生徒の記録

先生による記録

ご遺族からのアンケート

生き残った生徒の手記

広島一中一年生寄宿舎の思い出

原爆犠牲者の名簿

「脱出生徒の記録」は、上述『倒壊校舎脱出手記』から16名全員の手記がそのまま転載されている。のみならず、氏名、勤務先、出身校、被爆当時の学級、住所が付加され、手記を提出せず死亡した1名のことも記録されている。画像13, 14に原邦彦の編集の跡を示す。次の「先生による記録」も、『倒壊校舎脱出手記』所収の「職員による記録」を採録したものであり、被爆現場において教員という立場で活動した体験を記録する。

「ご遺族からのアンケート」は、本書の中心であり、本書のほぼ四分之三を占めている。アンケートの回答をそのまま掲載している。この部分は、原邦彦がすべての内容を出版用にB4原稿用紙8綴〈各50枚〉に転記している(HK0044~51)。大変な努力である。この一端を画像15, 16に示す。

これに加えて、1971年の慰霊祭および遺族と生存生徒との懇親会開催のときに、出欠の有無を回答する返信葉書に「ご出席できない方は、当時のご子息の状況をお知らせ下さい」という欄が設けられていた。アンケートに回答がなくてこの返信葉書に記入された生徒のことがアンケート回答と同じように記載されている。

これに続く「生き残った生徒の手記」には、爆心地から約1500mの鶴見橋付近で被爆した3年生の手記、欠席したけれども自宅で被爆した2名、寄宿舎で被爆した1名、さらに、倒壊校舎脱出手記を書くときに転校していたため書かなかった1名の手記が掲載されている。

最後に原邦彦が被爆当時の体験を改めて記すとともに、『ゆうかりの友』発行時の心境を述べている。

おわりに原爆による死亡者の名簿が付され、本書が広島一中原子爆弾被爆の記録を遺して置きたいと決意したことを貫徹した形になっている。その名簿によれば、死亡者は教職員 15 名、生徒 354 名と記されていて、内訳は第五学年 1 名、第四学年 6 名、第三学年 55 名、第二学年 2 名、第一学年 289 名である。

なお、出版関係の金銭の出納は横罫のある帳簿に、寄付金は月日、氏名、住所、口数、金額が、支払も月日、金額、内容、支払先が記入されている（画像 17）。

3 資料について

この目録に収めたのは、『ゆうかりの友』関係のアンケートと『ゆうかりの友』発行後の礼状及び、「春物」と書かれた洋服箱一箱に収納されている資料である。資料は、邦彦夫人原道子氏より夫人の好意により谷整二が借用したものである。

資料は

- 1 一般資料大判封筒に収められた資料、アルバム、ノート類
- 2 『ゆうかりの友』採録アンケート回答
- 3 書簡類

に大別した。2 節で述べたように、1 の「一般資料」にも『ゆうかりの友』に採録された資料があることは言うまでもない。また、書簡類も封筒、アルバム等に収められたものはその項に含めた。

資料自体は特に時系列に従って整理されていないので、上記の区分にかかわらず、整理順に便宜的に「HK」で始まる一連の資料番号を付した。

年月日は西暦年（4 桁）月（2 桁）日（2 桁）を数字で示した。不明部分は xx で示した。

なお、この目録に収めた資料は、すべて電子画像化する予定であり、実際作

業の半ばを終えている。但し、一般への公開は個人情報保護の問題もあり、今後の課題である。また、資料自体については、夫人とも協議の上、電子画像も含め広島大学文書館など公的機関に寄託することを考えている。

謝辞

貴重な資料の使用を許可された原道子氏、仲介の労をとっていただいた兒玉光雄氏に厚く御礼申し上げます。

本研究は日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)「原爆文学関連自筆資料の目録作成と電子化の研究」(研究代表者松尾雅嗣 課題番号20520584)及び広島大学地域貢献発展研究「原爆被ばく資料の収集・整理・目録作成・電子画像化の研究及び広島市平和行政に関するオーラル・ヒストリー」(研究代表者川野徳幸)の支援を受けた。

『ゆうかりの友』 関連
原邦彦資料目録

1 一般資料

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0001	『ゆうかりの友』	19740501 発行	1冊 内表紙に詩の書き込み 署名あり。 裏表紙見返しに「病床詠 原邦彦遺稿」と題する貼り込み。原守夫の署名。
HK0002	「鯉城」九十周年記念号	19661015 発行	1冊 広島県広島国泰寺高等学校発行 162～163頁に付箋、目次に横括弧の書き込み
HK0003	「昭和二十年八月六日原子爆弾投下 倒壊校舎脱出手記（元広島一中生徒）」	19621016 初版 19660620 再版	1冊 数田猛雄編 私家版
HK0004	「昭和二十年八月六日原子爆弾投下 倒壊校舎脱出手記（元広島一中生徒）」	19621016 初版 19660620 再版	1冊 数田猛雄編 私家版 『ゆうかりの友』出版用に加筆 11から50までのノンブル（機械印）、ポイント指定その他の印刷指定 表紙は表題等すべて取消線 上段に「11～50」の書き込み この内容は『ゆうかりの友』5～55頁に「脱出生徒の記録」と「先生による記録」としてそのまま収録
HK0005	「鯉城校友のうた」		B7版 広島一中、鯉城高校、国泰寺高校校歌など
HK0006	罹災証明書	19450812	原邦夫罹災証明、広島県発行
HK0007	写真挟み		広島本通 キンダ（写真館） HK0008～0010を挟み込み
HK0008	写真		同窓会写真2枚 うち1枚裏面鉛筆手書の姓 HK0007に挟み込み
HK0009	領収書	19600301	1,900円 キンダ写真館出し、HK0007に挟み込み
HK0010	葉書	19600219	荒谷文差出、原守夫御奥様宛 HK0007に挟み込み
HK0011	短歌 14首		A4部分 裏表自筆 病床詠
HK0012	封書	19740527	広島県封筒 内恠差出、原邦彦宛 広島県B5横罫紙横書自筆、『ゆうかりの友』購入希望
HK0013	封書	19740603	広島県立図書館封筒 県立図書館長（館長公印）差出、原邦彦宛、B5縦無地用紙、『ゆうかりの友』2部寄贈に対する礼状

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0014		19740601	封筒なし 広島市長山田節男（平和祈念資料館扱い）（市長公印、）差出、原邦彦宛 B5無地縦用紙横書タイプ印刷1枚、B5横用紙受領書1枚 『ゆかりの友』1部寄贈に対する礼状 資料館担当者名刺挟み込み
HK0015	写真アルバム		谷口カメラ簡易アルバム HK0016~収納
HK0016	写真		邦彦他原家家族写真13点 HK0015に挟み込み
HK0017	名刺		毛糸と洋品 むのや 原邦彦 HK0015に挟み込み
HK0018	新聞切り抜き		NHK スペシャル「永遠の祈り・ヒロシマ・語り継ぐ一族」原民喜、守夫、邦彦を中心に原家の活動を伝える HK0015に挟み込み
HK0019	放送台本		B5青焼23頁 1頁に「奥田用」の書き込み
HK0020	会員名簿		鯉城同窓会 昭和45年度版（「46年度」の手書加筆）729頁 書き込み、挟み込み等多数
HK0021	名簿		B5縦書青焼 和綴62頁 死没者名簿、死没者氏名、学年、遺族氏名、連絡先、続柄、職業等記載 加筆修正、書込多数
HK0022	名簿		B5縦書青焼 紙ばさみ62頁 冒頭に「当時の生存者にて卒業生」の書き込み、記載事項はHK0021に同じ 末尾に未使用の原商店用箋挟み込み
HK0023	色紙		14名の署名（おそらくは同窓会の際のもの）
HK0024	アルバム		箱入り スクラップブックとして使用 HK0025~0043を貼り付けもしくは挟み込み
HK0025	新聞切抜	19650802	原邦彦「あの日と私 なき友にすまぬ気持ち」中国新聞「特集 ヒロシマ二十年」挟み込み 写真「原邦彦顔写真」
HK0026	新聞切抜	19670806	「級友の苦しみのあと 旧広島一中同窓生が記録へ 平和への誓いをこめて」中国新聞 写真「旧一中追悼碑」

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0027	新聞切抜	19680722	「わが子に平和を誓う 原爆記念日前に二つの慰霊祭」 読賣新聞 写真「旧一中慰霊祭」
HK0028	新聞切抜	19700520	裏表 「原爆に負けてはならぬ 被爆学徒が仲間の記録出版へ あの日の悲惨を再現 遺族も励ましの言葉」 朝日新聞 写真「資料整理中の原邦彦」
HK0029	新聞切抜	19700618	裏表 「平和願い記念碑建設 被爆廃校の済美卒業生 幼き命への慰霊こめ すでに原型塑像も完成」 朝日新聞 写真「除幕も近い済美学校碑」
HK0030	新聞切抜	19700716	一部前頁の余白に貼り付け 「肉親の碑に献花 東友会死没地点で慰霊」 中国新聞 写真「広島一中追悼碑の前の太田トキさん」
HK0031	新聞切抜	19700718	「『原爆被災記』の出版決める 旧広島一中の生存者 来年八月を目標 市没者の実態や手記集め」 中国新聞夕刊
HK0032	新聞切抜	19730723	「”犠牲 “が生かされぬ 核兵器を全廃させたい」 中国新聞 写真「旧広島一中慰霊祭」
HK0033	新聞切抜	19740526	「後世に惨状伝えたい 旧制広島一中生が被爆文集 ぬぐい切れない傷跡 同級生や遺族が手記」 中国新聞 写真「『ゆうかりの友』と原邦彦」
HK0034	新聞切抜	19740602	「今週の家庭ジャーナル “ゆうかりの友” をめぐる話題 原邦彦ほか」 中国新聞 写真「広島一中追悼碑」
HK0035	新聞切抜	19740729	「核兵器なくす誓い 県立一中原爆死者慰霊祭」 読賣新聞
HK0036	新聞切抜	19740705	「“ゆうかりの友” 出版 生々しい惨状を再録 旧広島一中生存者たち 遺族の手記も添え」 朝日新聞 写真「“ゆうかりの友” 表紙」
HK0037	新聞切抜	19740620	「被災記録を自費出版 県立一中生徒の会 行間、にじむ悲惨 “ゆうかりの友” 1000冊配る」 読賣新聞 写真『ゆうかりの友』及び原邦彦顔写真

資料 番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0038	新聞切抜	19740729	「あの日を前に 遺族ら涙新た 広島一中原爆死没者の慰霊祭」中国新聞 写真「子供の名前を指す遺族たち」
HK0039	新聞切抜	19740728	「しめやかに 旧制広島一中原爆死没者慰霊祭」朝日新聞
HK0040	原稿	19740729	B4横二つ折り縦罫紙縦書 原商店用箋手書 HK0039の原稿 HK0039貼り付けの次頁に挟み込み
HK0041	新聞切抜		「旧県立一中原爆慰霊祭 広島の国泰寺高で」紙名不詳 HK0039貼り付けの次頁に挟み込み
HK0042	新聞切抜コピー	19740620	HK0037新聞切抜のコピー HK0039貼り付けの次頁に挟み込み
HK0043	新聞切抜コピー	19790822	「原民喜(顔写真)の詩が曲に “永遠のみどり”朝日新聞 写真「永遠のみどり」原民喜自筆原稿と原良子
HK0044	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル51~124 右肩に②
HK0045	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル1251~174 及び鉛筆書刷上り頁番号 右肩に③
HK0046	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル175~224 右肩に④
HK0047	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル225~259 右肩に⑤
HK0048	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル260~308 及び鉛筆書刷上り頁番号 右肩に⑥
HK0049	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル309~349 及び鉛筆書刷上り頁番号 右肩に⑦

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0050	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル350~399 及び鉛筆書刷上り頁番号 右肩に⑧
HK0051	原稿		B4横原稿用紙縦書 自筆 『ゆうかりの友』原稿 各頁ノンブル 表紙左肩にノンブル400~448 及び鉛筆書刷上り頁番号 右肩に⑨
HK0052	封筒		原みちこ宛 天満屋社用 HK0053~54 を収める
HK0053	私の被爆体験と平和への思い	20050318	A4用紙11頁 Web 頁。2005年3月18日ダウンロード http://ww2.enjoy.ne.jp/~yorita/sub1.htm HK0052 に収納
HK0054	今は亡き級友の脱出手記	20050318	A4用紙11頁 Web 頁。2005年3月18日ダウンロード http://ww2.enjoy.ne.jp/~yorita/sub4.htm HK0052 に収納
HK0055	封筒		中国放送社用 HK0056~61 を収める
HK0056	東京鯉城 第2号	19741201	B5版12頁 3部 鯉城東京同窓会会報 HK0125 にも1部 HK0055 に収納
HK0057	東京鯉城 第3号	19750601	B5版12頁 2部 鯉城東京同窓会会報 HK0125 にも1部 HK0055 に収納
HK0058	東京鯉城 第4号	19760101	B5版12頁 4部 鯉城東京同窓会会報 HK0125 にも1部 HK0055 に収納
HK0059	広島通信 80	197906	B5版16頁 3部 『広島通信の会』 HK0125 にも1部 HK0055 に収納
HK0060	詩 ゆうかりの友		B5縦罫紙1枚 A4コピー5部 原邦彦名 手書 HK0055 に収納
HK0061	弔詞	19751026	B5用紙5枚 A4コピー6部 友人代表八谷丑雄 手書 HK0055 に収納
HK0062	封筒		無地 HK0063~70 を収める
HK0063	日本旅行 旅行者用紙挟み		B5版1点 HK0064~67 を挟み込み HK0062 に収納
HK0064	広島一中遺族会 関係箇所電話番号		日本旅行横B5用箋1枚 手書 HK0063 に挟み込み HK0062 に収納

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0065	御旅行計画表		日本旅行専用紙 B5 版横書 青焼 19 部 4 月 14 日～16 日京都、奈良、高野山旅程 HK0063 に挟み込み HK0062 に収納
HK0066	善光寺参詣者名簿 広島一中遺族会		B4 版 1 枚 孔版横書 東急観光添乗員 森末 氏名の欄外 手書の 3 桁数字 HK0063 に挟み込み HK0062 に収納
HK0067	善光寺参詣者名簿 広島一中遺族会		B4 版 1 枚 孔版横書 東急観光添乗員 森末 氏名の欄外 手書の○、一、ゝの記号あり HK0063 に挟み込み HK0062 に収納
HK0068	奈良名所観光記念 写真挟み		小路谷写真株式会社 A5 紙製 写真 2 葉 (HK0069~70) 挟み込み HK0062 に収納
HK0069	集合写真		「奈良観光記念 於 東大寺南大門 鹿」印字 HK0068 に挟み込み HK0062 に収納
HK0070	集合写真	19690415	「昭和四十四年四月十五日 高野山 参拝記念」白抜印字 HK0068 に挟み込み HK0062 に収納
HK0071	封筒		無地 伊藤明彦出 原邦彦宛 (料金別納郵便) HK0072~54 を収める
HK0072	「被爆者の声を記録する会」感謝状	197503xx	B4 版 裏表 孔版末尾に原邦彦宛、伊藤明彦自筆の礼文 HK0071 に収納
HK0073	「被ばくを語る」録音 名簿 被爆者の声を 記録する会	197503xx	B4 版 裏表 孔版 33 頁 504 名分 裏表紙 取り扱い注意の旨の文言 HK0071 に収納
HK0074	封筒		日本歯科技工師会封筒再利用 嘉戸みどり出 原道子宛 HK0075~78 を収める
HK0075	伊藤明彦著「原子野 の『ヨブ記』」抜刷	19930715 発行	B5 版 35～51 頁と奥付 活版 一部欄外上段に横丸括弧の書き込み HK0074 に収納
HK0076	葉書 NHK 広島放 送局出、松尾みどり 宛	19950720	官製葉書 8 月 5 日放送「NHK スペシャル 永遠の祈り ～ヒロシマ・語り継ぐ一族」の案内 HK0074 に収納
HK0077	書状 山下信久出、 松尾みどり宛	xxxx0518	B5 ルーズリーフ 1 枚 封筒なし NHK スペシャル取材協力への礼状 手書 HK0074 に収納

資料 番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0078	写真		赤の表書「みどり様」のビニール袋 14葉原邦彦と家族の写真 HK0077 に由来の説明 HK0074 に収納
HK0079	封筒		社団法人表千家同門会封筒 HK0080~94 を収める
HK0080	(同窓会の) 出席者 名簿		広島県広島国泰寺高等学校横罫紙2 0枚来賓・先生、卒業年次別 HK0079 に収納
HK0081	鯉城同窓会国泰寺高 校卒業生の会則案		A4縦書2枚 1枚は裏表使用 自 筆 鉛筆書 HK0079 に収納
HK0082	無題		原爆体験の記録 商工中金メモ用紙 B5 9枚縦書 自筆 ペン書 末 尾鉛筆書 HK0079 に収納
HK0083	広島一中一年生原爆 生存者名簿	19670916	B4 縦 青焼 4部 学校での被爆者 に○印 最初の一部に加筆あり
HK0084	メモ		米田節次郎連絡先 自筆横書 他2 名の氏名あり HK0084 に挟み込み HK0079 に収納
HK0085	アンケート回答依頼 状		広島一中一年生原爆生存者一同出、広 島一中教職員遺族宛 連絡先：原邦彦 HK0079 に収納
HK0086	アンケート回答用紙		B4 横 二段 活版 上記依頼状のア ンケート HK0079 に収納
HK0087	アンケート回答		信義商会 B5用箋の青焼 高橋茂他1 1名の手書回答 HK0086 とは項目異 なる別のアンケートへの回答 HK0079 に収納
HK0088	同期会写真礼状		B5縦書 YUKARI 罫紙 差出人不詳 HK0079 に収納
HK0089	同期会出席写真代金 礼状		B5縦書 YUKARI 罫紙 ペン書原邦彦 自筆草稿 HK006-0009 への礼状 HK0079 に収納
HK0090	同期会礼状		「づつうにノーシン」A4縦罫紙 井 出差出、原宛 HK0079 に収納
HK0091	同期会礼状	xx0914	頼島医院 B5縦罫紙 頼島富子差出、 原邦彦宛 HK0079 に収納
HK0092	書状抜粋		B5縦書便箋 「昭和二十年四月三日 木 池田和之君宛 抜粋」 HK0079 に収納
HK0093	書状書出		B5音楽の友縦罫紙 HK0079 に収納

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0094	『ゆうかりの友』出版記念原稿		B 5 1 5 字詰原稿用紙 3 0 枚 奥付案、山本康夫、杉原哲郎、岡野愛顧 3 名原稿浄書、あとがき、資金支援者名簿 HK0079 に収納
HK0095	封筒		広島県立広島国泰寺高等学校封筒 HK0096~0115 を収める
HK0096	広島市立国泰寺中学校 第 2 7 回文化祭パンフレット	19751105	原みどり署名 HK0095 に収納
HK0097	広島一中遺族会二十五回忌慰霊祭出席者名簿	19690727	B 4 横版縦書き 孔版 3 枚 HK0095 に収納
HK0098	慰霊祭準備メモ	19720723	B 5 横書 自筆 1 枚、「おぼえ」と記した青焼 1 枚 HK0095 に収納
HK0099	慰霊祭出席者名簿		B 4 横 2 段組横書 孔版 3 枚
HK0100	広島一中遺族会慰霊祭参加名簿		B 4 縦 2 段組横書 孔版 2 枚 2 部 HK0095 に収納
HK0101	広島一中原爆死没者慰霊祭準備について	xx0722	広島県立広島国泰寺高等学校 B 5 罫紙自筆 横書 3 枚 B 4 用紙 1 枚と B 5 用紙 1 枚に青焼 HK0095 に収納
HK0102	広島県立第一中学校原爆死没者慰霊祭式次第	19840722	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収納
HK0103	広島県立第一中学校原爆死没者慰霊祭式次第	19860727	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収納
HK0104	広島県立第一中学校原爆死没者慰霊祭式次第	19870726	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収納
HK0105	昭和 6 3 年度広島県立第一中学校原爆死没者慰霊祭式次第	19880724	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収納
HK0106	平成元年度広島県立第一中学校原爆死没者慰霊祭式次第	19890723	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収納
HK0107	平成 2 年度広島県立第一中学校原爆死没者慰霊祭式次第	19900722	式 次 第 及 び 参 加 者 名 簿 HK10108~0109、HK0113 を挟み込み HK0095 に収納
HK0108	広島一中記念館の経緯と瓦保存について	19900722	B 4 横用紙縦書 1 枚 ワープロ H0107 に挟み込み HK0095 に収納

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0109	追憶の歌 広島一中 慰霊祭に捧ぐ	19900722	B 4 横用紙縦書 1 枚 ワープロ 国泰寺高等学校長 福谷昭二 短歌 4 首 HK0107 に挟み込み HK0095 に 収納
HK0110	平成 3 年度広島県立 第一中学校原爆死没 者慰霊祭式次第	19910728	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収 納
HK0111	平成 4 年度広島県立 第一中学校原爆死没 者慰霊祭式次第	19930726	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収 納
HK0112	平成 6 年度広島県立 第一中学校原爆死没 者慰霊祭式次第	19950724	式次第及び参加者名簿 HK0095 に収 納
HK0113	広島の鐘 歌詞		B 4 横用紙縦書 1 枚 ワープロ 2 部 1 部は H0107 に挟み込み HK0095 に収納
HK0114	追憶の歌 広島一中 慰霊祭に捧ぐ	19880724	B 4 横用紙縦書 1 枚 ワープロ 国泰寺高等学校長 福谷昭二 短歌 4 首 HK0095 に収納
HK0115	詩 レクイエム	19880805	中国新聞コピー B 4 縦用紙 福谷 昭二作 HK0095 に収納
HK0116	封筒		フジタ工業封筒 フジタ開発株式会 社差出、原邦彦宛 HK0117~0121 を収 める
HK0117	新聞切り抜き		A 4 コピー 8 部 「原爆都によみが える」原家紹介の記事 守夫 邦彦ら 写真 HK0016 に収納
HK0118	「原爆の絵を残そう」 運動礼状	197512xx	B 4 横用紙縦書 2 枚、孔版、NHK 中国本部「原爆の絵」係一同 HK0016 に収納
HK0119	学校史編集委員会案 内	19730710	B 5 縦用紙横書 編集委員長、国泰寺 高校長連名 HK0016 に収納
HK0120	「八月六日を前に」	1979xxxx	B 4 縦用紙横二段組 コピー 2 部 国泰寺高校百年始の原爆関係抜粋 1 部は 2 ページ目欠落 手書前書に 異同あり HK0016 に収納
HK0121	抜き刷り		B 4 横用紙二つ折り 縦書 活版 『ゆうかりの友』334~340 頁抜 粋 HK0016 に収納
HK0122	封筒		鯉城同窓会封筒 HK0123~0124 を収 める

資料 番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0123	広島県立第一中学校 原爆死没者慰霊祭 (平成17年度)式 次第	20050724	B5縦用紙横書 HK0122 に収納
HK0124	新聞切り抜き	20050723	読売新聞切り抜きコピー B5 横 『星は見ている』復刊 HK0122 に収 納
HK0125	封筒		NHK 中国本部差出、原邦彦宛 HK0056~69 の資料も各1部同封 HK0126 を収める
HK0126	鯉城 第40号	19900810	B5 同窓会報 HK0125 に収納
HK0127	封筒		タビックスジャパン2005年5月 号封筒広島支店差出、宛先不詳 表に 「原さん預り写真 ‘05-5-28」 とあり HK0128~129 を収める
HK0128	新聞切り抜き	19610724	「広島一中追悼碑」 紙名なし HK0127 に収納
HK0129	新聞切り抜き	19670918	「友の遺族招き追悼会」 中国新聞 HK0127 に収納
HK0130	封筒		鯉城同窓会封筒 HK0131~133 を収め る
HK0131	記念写真	1946~ 1951	広島一中、国泰寺高校時代の記念写真 7点 裏面に説明 HK0130 に収納
HK0132	同窓会、慰霊祭集合 写真		4点 うち1枚裏面に姓の記入 以 上2件同一のビニール袋入 HK0130 に収納
HK0133	写真	20050528	カラー HK0130 に収納
HK0134	封筒		茶封筒 二つ折り 「山下様 原道 子」の表書 HK0135~140 を収める
HK0135	ネガフィルム	19830722	35枚撮 表題「<広島一中原爆慰霊 祭> 澤田」の表題と日付 HK0134 に収納
HK0136	写真	19830722	慰霊祭写真 HK0135 ネガにテープで 貼り付け HK0134 に収納
HK0137	追悼の碑写真		カラー2点 「追悼の碑は旧広島一中 校庭(現在国泰寺高校)に建つ」と記 した用箋に挟み込み HK0134 に収納
HK0138	慰霊祭写真		「慰霊祭の席上で・・・」と記した用箋 に挟み込み HK0134 に収納
HK0139	追悼の碑写真		カラー10点 HK0134 に収納
HK0140	慰霊祭写真		モノクロ18点 HK0134 に収納

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0141	封筒		The CARD 社封筒 ヌノヤ宛 HK0142~144 を収める
HK0142	現金帖		B 5 ノート 「観音像 現金帖」の表書 HK0141 に収納
HK0143	領収書	19750221	株式会社増進堂受験研究社差出、原邦彦宛、同社封筒に同封 HK0142 に挟み込み HK0141 に収納
HK0144	領収書	19710802	広告料領収証 中国新聞社 同社封筒に同封 領収証は「ぬのや」宛、封書は秋田正之宛 HK0141 に収納
HK0145	封筒		九州凸版印刷株式会社封筒 「4 4 9 ~ 4 9 8 X」の表書 HK0146~152 を収める
HK0146	「生き残った生徒の手記」森下弘		B 4 横原稿用紙縦書 2 枚 (表紙及び筆者紹介)、A 4 横原稿用紙縦書 1 0 枚 (森下弘「原爆体験とその後」) 449 で始まる連番のノンブル 編集あり HK00145 に収納
HK0147	アンケート回答及び感想文 竹西正志		B 4 原稿用紙 2 枚 B 5 無罫 2 枚原邦彦宛書状 いずれも筆ペン書 ノンブル 460~463 編集あり HK0086 への回答 HK00145 に収納
HK0148	アンケート回答及び感想文 (広島一中一年生 寄宿舎の思い出) 山中哲偉		B 5 警視庁横用箋縦書 1 枚 鉛筆書 ノンブル 464 B 4 横原稿用紙縦書 8 枚 山中哲偉 鉛筆書 ノンブル 465~472 編集あり HK0086 への回答 HK00145 に収納
HK0149	アンケート回答及び感想文 本田重雄		B 5 横原稿用紙縦書き 1 3 枚 ペン書 ノンブル 473~4484 編集あり HK0086 への回答 HK00145 に収納
HK0150	アンケート回答及び感想文 原邦彦		B 4 横原稿用紙縦書 1 2 枚 ペン書き ノンブル 485~496 編集あり HK0086 への回答 HK00145 に収納
HK0151	原爆による死亡者の名簿		B 4 横原稿用紙縦書 1 枚 教職員 1 5 名の氏名 ノンブル 497 HK00145 に収納
HK0152	百年史資料提供依頼文書及び添付資料	19730719	B 4 横用紙横書 依頼状 1 枚、青焼き資料 3 枚、資料欄外に姓の手書 HK00145 に収納
HK0153	封筒		本田重雄差出、原邦彦宛 HK0154~161 を収める

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0154	名簿 広島一中（昭20年入学）～鯉城高校（昭24年終了）		A4 大学ノート横罫7枚 鉛筆書き、一部青赤ペン書き 氏名 154名 死亡者8名 勤務先 職名 所在地 住所 電話番号 85名 HK0153に収納
HK0155	名簿 広島一中、鯉城		B5 原稿用紙11枚 鉛筆書き、一部ペン書加筆 氏名 生徒192名 職員9名 死亡者8名 勤務先 出身大学 職名 所在地 住所 電話番号等記載 HK0153に収納
HK0156	名簿 在学中原爆による死亡者		『鯉城』P.173~174の一枚切取 広島一中在学中原爆による死亡者学年別名簿に4名をペン書きで追加 生徒355名 右肩ノンブル498など印刷指示書込 HK0153に収納
HK0157	名簿 表題なし		B5 原稿用紙5枚 鉛筆書 氏名 男女75名 死亡者6名 出身大学名 勤務先 住所記載 HK0153に収納
HK0158	名簿		B5 原稿用紙9枚 鉛筆書 第1頁世話人名原邦彦他6名、第2頁縦書姓名リスト、以下名簿7枚 氏名 男女116名 出身大学 勤務先 職名 所在地 住所記載 HK0153に収納
HK0159	名簿		B5 罫紙横書3枚 ペン書 男女38名 HK0153に収納
HK0160	鯉城同窓会 国泰寺高校卒業生の会 整理券	19680512	1枚 HK0153に収納
HK0161	領収証	19680512	羽田篤司差出、鯉城同窓会宛、150,000円 HK0153に収納

2 アンケート回答

以下に、『ゆうかりの友』原稿となったアンケート（資料番号 HK0086）回答を記録する。

<p>特記なき限り、B4 ざら紙 1 枚の解答用紙に記入、原邦彦宛封筒に同封 封筒裏面差出人（遺族）横に原邦彦による死没生徒名、学年の記入あるものもある</p> <p>「整理番号」は封筒裏もしくは回答用紙に原邦彦記入の番号であり、以下の回答の配列はこの順に従った。この番号はアンケートの発送リストの番号と推察されるが、現在のところどの名簿が発送リストとして使用されたかは明らかでない。</p> <p>[] は編者が補足したことを示す。</p>			
資料番号	整理番号	生徒氏名（学年）（出身学校）	死亡月日・場所・備考
HK0162	12	伊東武治（3）（皆実町）	12 日、永田救護所、B5 ペン書き封筒なし
HK0163	13	磯村節（3）（済美）	9 日、似島救護所
HK0164	15	石川裕之（3）（尾長）	15 日、矢賀町の自宅
HK0165	17	大土茁（3）（尾長）	9 日、尾長町の自宅
HK0166	19	大屋恵市（3）（小倉市堺町）	20 日、山本村の知人宅
HK0167	27	久保原篤三（3）（光道）	7 日
HK0168	30	城本博司（3）（熊野第一）	11 月 25 日、友人宅に避難後自宅へ、寄宿舍で死亡
HK0169	31	角井利春（3）（大手町）	6 日、土橋
HK0170	34	田中昭生（3）（県師範付属）	8 日、永田救護所 封筒なし
HK0171	37	高石武信（3）（五日市観音）	14 日、自宅
HK0172	45	乃美幸雄（3）（安佐狩小川）	9 日、自宅
HK0173	47	平岡一幹（3）（白島）	7 日、自宅
HK0174	53	松永好継（3）（奥海田）	8 日、自宅
HK0175	56	山蔭達郎（3）（県師範付属）	8 日、己斐〔高須〕の工場
HK0176	59	横田勵吾（3）（幟町）	7 日、大河小救護所
HK0177	60	脇本洸（3）（江田島）	鶴見橋、具体的記載なし
HK0178	65	有田政弘（1）（段原）	不詳
HK0179	66	芥河純（1）（千田）	8 日、似島救護所 兄俊郎（千田小卒、第 3 学年）7 日、己斐〔高須〕の工場にて死亡の記述あり
HK0180	67	浅川正夫（1）（白島）	28 日、自宅
HK0181	68	荒木済（1）（竹屋）	31 日、岩国海軍病院 追記の書簡同封
HK0182	74	青山久男（1）（大手町）	不詳

資料 番号	整理 番号	生徒氏名 (学年) (出身学校)	死亡月日・場所・備考
HK0183	75	伊藤忠造 (1) (熊野第一)	8日、自宅
HK0184	77	伊東宏 (1) (矢野)	9月1日、自宅
HK0185	78	池田安喜 (1) (西条御園宇)	6日??、焼け跡で白骨
HK0186	79	池田一郎 (1) (千田)	7日、似島救護所
HK0187	81	池田昭夫 (1) (戸河内)	9日、似島救護所 本人より家族宛の書状3通同封
HK0188	83	井出聰昭 (1) (中山)	28日、自宅
HK0189	84	岩宮清人 (1) (大河)	9月2日、自宅
HK0190	85	岩田邦彦 (1) (付属東雲)	8日、金輪島救護所
HK0191	86	岩竹孝 (1) (不明)	不詳 アンケート回答用紙なし 書状(B5縦書便箋7枚のうち2~6頁)に当時の状況の記載
HK0192	88	板倉睦人 (1) (中島)	6日??、焼け跡で白骨
HK0193	89	石田耕三 (1) (安佐宇賀)	8日、引き取り帰宅移送中
HK0194	90	石本英彦 (1) (千田)	6日、鯛尾救護所
HK0195	91	石丸敬 (1) (北京-牛田)	6日、竹屋町36で死体
HK0196	93	飯島利彦 (1) (荒神)	6日、校庭で死体
HK0197	94	猪原清道 (1) (加計)	7日、柳橋 1年後友人の父親から知る
HK0198	95	植田孝 (1) (櫻鳴)	8日、似島救護所
HK0199	96	植田寛治 (1) (船越)	不詳 書状(B5横書原稿用紙2枚)同封
HK0200	98	浦郁雄 (1) (杉並第4小⇒都立第4中)	7日、自宅
HK0201	102	宇都桂三 (1) (済美)	6日、共済病院
HK0202	103	宇根弘哲 (1) (大竹)	不詳
HK0203	110	太田圭治 (1) (白島)	6日?、似島救護所
HK0204	112	大熊寛 (1) (東京 赤城)	6日?、校庭
HK0205	113	太田博之 (1) (荒神)	6日?
HK0206	114	大内皓嗣 (1) (大芝)	不詳
HK0207	115	岡田達志 (1) (玖波)	7日、金輪島救護所
HK0208	116	岡田宏二 (1) (三高)	不詳
HK0209	117	岡野博昌 (1) (奥海田)	不詳 書状同封
HK0210	120	小方健 (1) (皆実)	23日、山崎病院救護所 メモ同封
HK0211	122	奥田博通 (1) (中島)	7日、金輪島救護所
HK0212	124	長博幸 (1) (観音)	不詳
HK0213	125	川島隆 (1) (千田)	6日(父の推定) 書状1枚同封
HK0214	126	川手明 (1) (沖)	6日(家族推定)、8日遺体発見 書状2枚同封

資料 番号	整理 番号	生徒氏名 (学年) (出身学校)	死亡月日・場所・備考
HK0215	128	河野章一 (1) (竹屋)	不詳
HK0216	131	金川利博 (1) (呉東本通)	22日、自宅 回答用紙2通 記述部分異なる。
HK0217	132	金子四郎 (1) (千田)	不詳
HK0218	133	梶山祐宏 (1) (宇品)	7日、鯛尾救護所
HK0219	134	梶原和昭 (1) (瀬野)	6日、鯛尾救護所
HK0220	135	梶井公明 (1) (地御前)	6日、学校の南運動場
HK0221	136	加藤文靖 (1) (佐世保光園)	不詳
HK0222	139	鎌田崇 (1) (蒲刈 向)	不詳 回答者鎌田正男の自宅、勤務先の名刺各1枚同封
HK0223	145	黒田芳久 (1) (四谷第2)	28日、自宅
HK0224	146	久保正彦 (1) (祇園 山本)	7日、鶴見橋
HK0225	148	栗栖慎一郎 (1) (殿賀)	不詳
HK0226	158	佐々木一彦 (1) (大手町)	不詳、プールのところ
HK0227	159	佐々木研治 (1) (白島)	不詳
HK0228	160	佐々木英世 (1) (東志和)	不詳 似島救護所と推定
HK0229	161	佐々木和成 (1) (西条 寺西)	不詳 本人の写真一葉同封
HK0230	167	坂本達雄 (1) (厳島)	7日、日赤病院庭
HK0231	168	澤村定 (1) (安芸府中)	不詳
HK0232	169	酒井康温 (1) (能美 中町)	9月2日、自宅 書状1枚同封
HK0233	170	新久和俊 (1) (県師付属)	6日、自宅
HK0234	171	新庄義平 (1) (比治山)	不詳
HK0235	173	白川義成 (1) ([広瀬北町])	8日、宇品船舶練習部
HK0236	175	[清水信雄] (1) (八本松吉川)	9日、似島救護所
HK0237	177	食堂純治 (1) (安芸府中)	6日、プール脇
HK0238	178	庄賀隆義 (1) (熊野第一)	不詳
HK0239	180	芝田孝治 (1) (牛田)	不詳
HK0240	181	菅野幹雄 (1) (幟町)	9月1日、自宅
HK0241	182	杉原啓 (1) (袋町)	27日、母疎開先
HK0242	184	諏訪本祐造 (1) (安芸 横浜)	不詳 所感B5原稿用紙横書10枚同封
HK0243	185	住田隆明 (1) (東志和)	7日、叔父の家
HK0244	188	瀬越哲 (1) (荒神)	不詳
HK0245	189	相馬幸夫 (1) (舟入)	30日、自宅
HK0246	191	田村汀児 (1) (草津)	26日、自宅
HK0247	192	田村尤史郎 (1) (県師 付属)	26日、自宅
HK0248	193	田村亨 (1) (中島)	7日、似島救護所
HK0249	194	田川正登 (1) (緑井)	不詳
HK0250	195	田川利夫 (1) (天満)	記載なし 所感便箋縦書6枚同封
HK0251	196	田中富士雄 (1) (大野)	不詳

資料 番号	整理 番号	生徒氏名 (学年) (出身学校)	死亡月日・場所・備考
HK0252	197	田中伸作 (1) (皆実)	6日、自宅
HK0253	198	[田原晃二] (1) (舟入)	12日、似島救護所
HK0254	199	高橋浄二 (1) (狩小川)	7日、似島救護所
HK0255	200	高橋清恒 (1) (済美)	9日に連絡あり、日赤
HK0256	203	谷本吉朗 (1) (櫻鳴)	6日 書状便箋縦書2枚同封
HK0257	208	立川整吾 (1) (八重東)	不詳
HK0258	213	地後雅章 (1) (幟町)	7日、似島救護所か
HK0259	214	対馬義矩 (1) (荒神)	不詳
HK0260	216	佃実 (1) (廿日市)	不詳
HK0261	217	塚脇敬亮 (1) (光道)	17日、似島⇒石内
HK0262	218	手島敏明 (1) (海田)	12日、金輪島⇒自宅
HK0263	220	寺尾正士 (1) (安佐山本)	7日、宇品学園
HK0264	222	徳永等 (1) (高田)	29日、自宅
HK0265	223	富田基司 (1) (長束)	不詳
HK0266	224	土井隆義 (1) (戸坂)	不詳
HK0267	225	中野道夫 (1) (口田)	7日らしい
HK0268	227	中村高城 (1) (鎌倉第一)	9月1日、自宅
HK0269	228	[中津勲] (1) (広瀬)	8日、暁部隊で死亡診断書
HK0270	230	中野正記 (1) (可部)	不詳
HK0271	233	南口修 (1) (宇品)	6日午後3時ごろ自宅
HK0272	235	仲岡繁樹 (1) (東海田)	29日、自宅
HK0273	236	内藤直夫 (1) (済美)	不詳
HK0274	239	西名晟 (1) (比治山)	不詳
HK0275	240	西迫盛人 (1) (温品)	不詳
HK0276	241	西村昌次郎 (1) (千田)	7日、自宅
HK0277	242	西土井孝憲 (1) (祇園)	30日、自宅
HK0278	243	西尾清 (1) (千田)	不詳
HK0279	244	西田進 (1) (幟町)	不詳、B5便箋2枚に回答 挨拶 便箋ペン書1枚
HK0280	246	新田宏 (1) (古田)	28日、自宅
HK0281	248	二宮正憲 (1) (尾長)	6日即死か
HK0282	249	野北保 (1) (祇園 原)	不詳
HK0283	250	野間達彦 (1) (白島)	24日、自宅
HK0284	254	野上幹雄 (1) (荒神)	不詳
HK0285	256	原敬 (1) (仁保)	9日、自宅
HK0286	257	長谷川良知 (1) (己斐)	9日、鯛尾救護所
HK0287	259	[浜田博] (1) (渋谷富ヶ谷)	不詳
HK0288	260	半田寿一 (1) (西条)	9月4日 原邦彦差出半田美子宛 封筒に封入
HK0289	261	畠山隼人 (1) (矢野)	8日、似島救護所
HK0290	263	[花谷一良] (1) (宇品)	記載なし

資料 番号	整理 番号	生徒氏名（学年）（出身学校）	死亡月日・場所・備考
HK0291	264	畑谷武（1）（光道）	不詳
HK0292	265	浜西雄三（1）（大河）	7日、自宅
HK0293	267	林茂樹（1）（瀬野）	不詳
HK0294	269	平井亀久朗（1）（大手町）	不詳
HK0295	272	平口一郎（1）（大古）	21日、自宅
HK0296	273	広保環（1）（観音）	12日、祇園
HK0297	274	広中貞人（1）（荒神）	7日、
HK0298	276	[弘重卓康]（1）（大竹）	7日、金輪島 書状便箋2枚同封
HK0299	279	[藤野昌誠]（1）（兵庫御影第2）	不詳 書状B4原稿用紙2枚同封
HK0300	280	藤野博久（1）（和歌山雑賀）	不詳
HK0301	281	藤川馨（1）（段原）	6日、昭和43年判明
HK0302	283	藤沢養（1）（光道）	不詳
HK0303	285	藤本宏司（1）（皆実）	不詳
HK0304	286	藤尾博（1）（己斐）	不詳 書状便箋1枚同封
HK0305	287	福島英正（1）（江田島）	不詳
HK0306	288	堀弘明（1）（草津）	10日、似島救護所
HK0307	289	松井敬三（1）（幟町）	不詳
HK0308	290	松島一夫（1）（奥海田）	6日、自宅
HK0309	291	正木義虎（1）（県師付属）	29日、自宅 メモ書1枚同封
HK0310	292	升川宗利（1）（尾長）	不詳、焼け跡にベルト金具
HK0311	293	三重野杜夫（1）（鎌倉第2）	7日、堤医院にいたとの消息 書状2通便箋各3枚及び詠13首〈便箋3枚〉同封
HK0312	294	三保一心（1）（東雲付属）	不詳
HK0313	297	三村寛（1）（皆実）	27日、忠海の自宅
HK0314	299	三島淳一郎（1）（草津）	24日、自宅
HK0315	302	宮地洋三（1）（尾長）	不詳
HK0316	303	宮野幸弘（1）（白島）	6日、校舎外（友人の話）
HK0317	304	見上博司（1）（江田島鷺部）	7日、大洲
HK0318	308	村田潤（1）（安佐櫻鳴）	7日、南観音町
HK0319	309	村上邦雄（1）（袋町）	8日、似島救護所
HK0320	311	邑岡一之（1）（西条下三永）	7日、翠町寄宿舍
HK0321	313	毛利学（1）（大阪南寿）	7日、日赤救護所
HK0322	313		毛利武差出原邦彦宛9月18日付封書 縦書1枚の書状同封 HK321 にアンケート回答とともに（原邦彦により？）同封
HK0323	315	森川博郎（1）（中島）	6日、校内〈知人の話〉 書状便箋縦書1枚同封

資料 番号	整理 番号	生徒氏名 (学年) (出身学校)	死亡月日・場所・備考
HK0324	316	森岡博 (1) (祇園 原)	不詳 「入学から被爆までの思い出」便箋縦書4枚同封
HK0325	317	森田文雄 (1) (白島)	不詳 書状便箋縦書2枚同封
HK0326	319	山本照夫 (1) (袋町)	20日、第一国民学校
HK0327	320	山本真澄 (1) (比治山)	6日、自宅
HK0328	322	山本達雄 (1) (矢賀)	6日か7日、似島救護所
HK0329	325	柳生基興 (1) (三篠)	不詳 書状便箋縦書3枚同封<2~4頁のみ 第一頁欠落>
HK0330	326	柳信男 (1) (白島)	28日、西高屋村 便箋横書8枚に回答
HK0331	327	湯川日出夫 (1) (宇品)	不詳
HK0332	328	吉川辰巳 (1) (古田)	7日、金輪島救護所
HK0333	330	吉山魏 (1) (段原)	7日、大河国民学校
HK0334	331	吉竹寛 (1) (牛田)	不詳
HK0335	332	吉竹幹夫 (1) (尾長)	6日、教室の瓦の下
HK0336	333	吉田亨 (1) (済美)	不詳 焼け跡にナイフ 遺族会出欠回答葉書同封
HK0337	334	吉田昌弘 (1) (三篠)	不詳 校庭で茶毘
HK0338	339	頼島令 (1) (祇園)	8日、似島救護所
HK0339	342	渡辺隆道 (1) (宇品)	12日、南段原自宅
HK0340	[343]	渡辺幸周 (3) (門司大里上)	7日 HK0339 に同封 <編者註>便宜的にここに入れた。学年を考慮すれば HK0177 の後に入れるべきかもしれない。
HK0341	344	和田富行 (1) (牛田)	不詳 回答用紙裏面 礼文一筆
HK0342	347	三谷浩正 (1) (西条)	昭和30年1月23日
HK0343	351	長谷川迪雄 (1) (白島)	7日、宇品暁部隊内
HK0344	354	川本久夫 (教員)	8日 書状便箋横書1枚同封 封筒表に「みどりさんの担任 久雄先生をなくしている」と記した付箋紙
HK0345	355	河内巖 (教員)	17日、自宅
HK0346	356	年宗智 (教員)	6日
HK0347	361	森房人 (教員)	7日 書状便箋縦書2枚同封 封筒表に「先生」と記した付箋紙
HK0348	364	達川和鎮 (1) (山県 安野)	不詳
HK0349	367	中島清吾 (1) (呉 岩方)	昭和42年1月31日
HK0350	番号なし	江川隆 (4) (幟町)	6日? 西練兵場付近

3 書簡類

以下に収めるのは、主として『ゆうかりの友』出版に関わる原邦彦宛書簡である。原邦彦以外の名宛については「備考」欄に記した。

配列の基準は特になく、日付順に編者が資料番号を付した。日付については本人自筆の日付と消印の双方がある場合、消印を優先した。

封書には、原邦彦のものと思われる手書の「母」などの書き込みが表あるいは裏にあるものもある。また、切手が切り取られ消印の日付が消失したものもある。これらについては以下特に言及しない。

1974年以前

資料番号	日付	発信者	形態	備考
HK0351	19670918	原井郁雄	封書	便箋1枚 集会欠席通知
HK0352	19680620	色川英夫	葉書	住所連絡
HK0353	19680915	中津トモヨ	封書	和紙2枚 二伸、三伸のみ
HK0354	19701020	本田重雄	封書	便箋1枚 原稿修正依頼
HK0355	19720811	西川亮	封書	便箋1枚 崎浜秀栄氏の情報 崎浜秀栄氏の手紙B 4横コピー2枚同封

1974年 「ゆうかりの友関係」

資料番号	日付	発信者	形態	備考
HK0356	19740520	広中ミヤノ	葉書	送本礼状
HK0357	19740523	戸田篤	葉書	送本礼状
HK0358	19740526	原爆資料保存会 横田工	葉書	原爆資料保存会への寄贈依頼
HK0359	19740530	寺尾英雄	封書	横罫紙1枚 送金通知
HK0360	19740602	原爆資料保存会会長横田	葉書	送本礼状 活版
HK0361	19740603	兼本金次郎	葉書	送本礼状
HK0362	19740603	太田司郎	封書	現金書留封筒 便箋1枚 送本礼状と送金
HK0363	19740604	数田麗子・信雄	封書	便箋5枚 送本礼状
HK0364	19740605	中島秀継	封書	便箋2枚 送本礼状
HK0365	19740608	亀川良夫	葉書	送本礼状
HK0366	19740609	芥川俊子	封書	原邦彦・奥様宛 便箋2枚 送本礼状
HK0367	19740611	関佐知子	葉書	送本礼状
HK0368	19740611	久保原シエ	葉書	送本礼状
HK0369	19740611	坂井喜作	封書	便箋1枚 送本礼状

資料 番号	日付	発信者	形態	備考
HK0370	19740611	太田スキ子	葉書	送本礼状
HK0371	19740612	瓜原寿美子	葉書	送本礼状
HK0372	19740612	鎌田正男	葉書	送本礼状
HK0373	19740612	佐々木文与	葉書	送本礼状
HK0374	19740612	石本和吉	封書	横書罫紙 2 枚 送本礼状
HK0375	19740613	梶原一貫	葉書	送本礼状
HK0376	19740613	佐々木大五郎	葉書	送本礼状
HK0377	19740613	板倉誠吉	葉書	送本礼状 二伸父の病状など〈姉孝子記〉
HK0378	19740613	矢野良子	葉書	送本礼状 秋田正之宛
HK0379	19740614	川手富子	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0380	19740614	黒田千代	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0381	19740615	有田幸弘	葉書	送本礼状
HK0382	19740616	吉竹カチヨ	封書	現金書留封筒 便箋 1 枚 送本礼状と送金
HK0383	19740616	杉原哲郎	封書	便箋 3 枚 送本礼状
HK0384	19740616	石丸豊・久子	封書	便箋 4 枚 送本礼状と誤植の指摘
HK0385	19740616	川島要	封書	便箋 1 枚 送本礼状
HK0386	19740617	岩竹よしの	葉書	送本礼状
HK0387	19740617	佐々木乃文江	封書	医療法人佐々木病院用箋 3 枚 旅行と送本への礼状
HK0388	19740617	田中英子	封書	便箋 2 枚 送本礼状と送金
HK0389	19740618	荒木キク	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0390	19740618	大奈良早苗	封書	便箋 3 枚 送本礼状
HK0391	19740619	田川サカエ	葉書	送本礼状
HK0392	19740620	田村一園	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0393	19740620	徳永芳人	封書	横罫紙縦書 2 枚 送本礼状
HK0394	19740620	畠山暁	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0395	19740620	中村あき子	葉書	送本礼状
HK0396	19740620	藤野守一・孝子	封書	守一記便箋 2 枚 孝子記便箋 3 枚 送本礼状
HK0397	19740621	大浜照馬	葉書	送本礼状
HK0398	19740622	弘重保子	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0399	19740622	三谷喜久子	封書	便箋 2 枚 送本礼状
HK0400	19740623	寺尾英雄	封書	便箋 2 枚 『ゆうかりの友』購入申込
HK0401	19740623	松井生駒	葉書	送本礼状
HK0402	19740623	明岳トヨ	葉書	送本礼状
HK0403	19740624	花谷本六	葉書	送本礼状
HK0404	19740624	相馬すえ	封書	秋山正之宛現金書留封筒 便箋 3 枚 送本礼状と送金

資料 番号	日付	発信者	形態	備考
HK0405	19740624	長逸江	葉書	送本礼状
HK0406	19740624	藤尾静子	葉書	送本礼状
HK0407	19740625	森田静子	葉書	送本礼状
HK0408	19740626	森下弘	封書	現金書留封筒 便箋1枚 送本礼状 と送金
HK0409	19740627	頼島富子	葉書	送本礼状
HK0410	19740629	吉富秀子	封書	便箋2枚 送本礼状
HK0411	19740629	中桶貞子	葉書	送本礼状
HK0412	19740630	対馬郡三・チ トミ	葉書	善光寺参り・送本礼状
HK0413	197406xx	米川嘉吉	葉書	送本礼状
HK0414	19740701	大東和徳	葉書	送本礼状
HK0415	19740701	西迫みす代	封書	便箋2枚 送本礼状
HK0416	19740702	三重野松代	葉書	送本礼状
HK0417	19740702	毛利武	葉書	送本礼状
HK0418	19740704	広島市立浅野 図書館	葉書	送本礼状 孔版
HK0419	19740705	大内剛	封書	東洋研磨剤工業株式会社用箋1枚 送本礼状
HK0420	19740705	猪原千代重	絵葉書	送本礼状
HK0421	19740707	宇都信・乙女	封書	便箋1枚 送本礼状
HK0422	19740707	瀬越鉄荘	封書	便箋2枚 送本礼状
HK0423	19740707	村田実計	封書	現金書留封筒 便箋2枚 送本礼状 と送金
HK0424	19740708	佐々木基一	葉書	送本礼状
HK0425	19740709	中村三郎	葉書	送本礼状
HK0426	19740709	田原チヒロ	葉書	送本礼状
HK0427	19740711	栗原貞子	封書	封筒なし 便箋3枚 送本礼状とカ ンパ 自著の送付
HK0428	19740716	広島工業大学 附属図書館	葉書	送本礼状
HK0429	19740717	沢村敏子	封書	便箋2枚 送本礼状
HK0430	19740718	柄脇順子	封書	便箋2枚 問い合わせへの回答
HK0431	19740719	高田恒太郎	葉書	送本礼状
HK0432	19740721	藤野としえ	封書	便箋2枚 送本礼状
HK0433	19740728	鳥越昭	葉書	学習研究社暑中見舞 活版
HK0434	197407xx	豊田青史	封書	B4原稿用紙1枚 送本礼状
HK0435	197407xx	江川きみよ	葉書	送本礼状
HK0436	19740814	川崎真彦	葉書	原邦彦・道子宛 邦彦病気見舞
HK0437	19740815	正木生虎	封書	秋田正之宛 便箋4枚 善光寺参詣 参礼状及び送本礼状

資料 番号	日付	発信者	形態	備考
HK0438	19740815	藤野としえ	封書	便箋3枚 近況・所感
HK0439	19740817	岩竹ヨシノ	封書	便箋1枚 善光寺参詣写真送付への 礼状
HK0440	19740830	服部操	封書	便箋3枚 手紙と写真への礼状
HK0441	19740831	飯田博国	封書	現金書留封筒 便箋1枚 送本礼状 と送金
HK0442	19740905	桂芳久	封書	B4原稿用紙1枚 送本礼状
HK0443	19740905	中山士朗	葉書	送本礼状
HK0444	19740930	坂本カヨ子	封書	便箋2枚 懇談会礼状 封筒なし
HK0445	19741003	広島女子大学 付属図書館	葉書	原良子宛 送本礼状 活版
HK0446	19741007	毛利川端	葉書	本配布と送金連絡

1975年以降

資料 番号	日付	発信者	形態	備考
HK0447	19750228	広島大学付属 図書館	葉書	送本礼状
HK0448	19750624	数田■子 1文字不明	葉書	夫葬儀の礼状
HK0449	19750801	正木生虎	封書	現金書留封筒 便箋3枚 欠席通知 と送金
HK0450	19750827	久保松枝	絵葉書	残暑見舞
HK0451	19750926	東京済々会	葉書	往復葉書 東京済々会〈済美学校同 窓会〉案内

1975年以降

資料 番号	日付	発信者	形態	備考
HK0452	不明	岡野愛子	封書	便箋2枚 送本礼状と切手
HK0453	不明	高島貞子	封書	便箋5枚 送本礼状？
HK0454	不明	大久保■男 1文字不明	葉書	送本礼状
HK0455	不明	天野良子	葉書	送本礼状

資料目録 追補

本目録脱稿後の平成 21 年 12 月 22 日に、原道子さんより新たな資料の借用を受けた。以下にこれ尾を掲げる。

一般資料

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0456	国泰寺高等学校卒業生名簿	195103	
HK0457	森房人命 二十年祭記	19650707	A 5 縦 6 頁
HK0458	写真		カラー 済美学校之碑
HK0459	済美の友	19710601	B 5 縦 済美学校之碑建立記年号
HK0460	会員名簿	196909	済美学校校友会 原邦彦による住所の訂正等多数
HK0461	返信葉書		若林高行差出 めのや内済美学校同窓会事務局宛 HK0460 に挟み込み
HK0462	寄付者名簿		B 5 ルーズリーフノート 済美学校之碑建設にかかる寄付者名簿 日付順、卒業年次別
HK0463	メモ		B 5 縦罫紙 1 枚 建設記念行事のメモ HK0462 に挟み込み
HK0464	返信葉書	19710522	奥村務差出 めのや内済美学校同窓会事務局宛 HK0462 に挟み込み
HK0465	葉書	19700516	藤井数子差出 済美学校四十期幹事会宛
HK0466	領収証	19700530	河野隆子宛 記念碑寄付金 HK0462 に挟み込み
HK0467	メモ		「寄付金額〆」の表題 HK0462 に挟み込み
HK0468	メモ及び振込通知書		長崎屋メモ用紙 会員の住所変更依頼 同メモ用紙 2 枚 振込み通知書 2 枚 HK0467 とともにクリップ留 HK0462 に挟み込み
HK0469	写真ネガ		1 枚 原邦彦
HK0470	済美校友会住所訂正者名簿		B 5 横書 9 頁 2 部 1 部ルーズリーフ 1 部青焼 HK0462 に挟み込み
HK0471	出納簿		Fukusuke week Diary 使用 『ゆうかりの友』出版支援寄付金出納 前半入金 末尾支出

資料番号	表題	年月日	形態・詳細等
HK0472	メモ		用紙不揃い 8名分 氏名、住所勤務先、寄付金額など記載 HK0471 に挟み込み
HK0473	書簡	xx0915	便箋縦書2枚 築山尚子差出 宛先不詳 HK0471 に挟み込み
HK0474	封筒		表書「御礼(ユーカーの友) 五領田」HK0471 に挟み込み
HK0475	メモ		広告の一部切取? 氏名住所寄付金額記入 HK0474 に入れてあるが表書とは別人 HK0471 に挟み込み
HK0476	領収証綴		広島一中被爆生徒会原邦彦名義 “ゆうかりの友” 出版資金寄付金 HK0471 に挟み込み
HK0477	「ゆうかりの友」寄付者名簿		B 5 横野日本メラミン株式会社用箋4枚2部 1部青焼 HK0471 に挟み込み
HK0478	原稿		B 5 縦書原稿用紙2枚 寄付謝辞の書き出し ほぼ同一内容 HK0471 に挟み込み
HK0479	封筒		B 4 Nissan Motor Co 封筒 高橋富久子差出 原邦彦宛
HK0480	書状		B 5 縦書便箋2枚 HK0479 に同封
HK0481	「フタバ」	193912	広島県師範学校附属小学校尋常科第一学年誌 2部 (1ぶコピー) HK0479 に同封
HK0482	ノート		A 5 覚書、メモとして使用
HK0483	講義ノート		B 5 同志社大学での講義ノート「法律学」

書簡類

1967年慰霊祭および遺族と生存生徒との懇親会往復葉書の返信者のうち、アンケート回答のないものを以下に記す。返信葉書の状況の記述は『ゆうかりの友』に採録されているからである。

資料番号	整理番号	生徒氏名〈学年〉(出身校)	死亡月日・場所・備考
HK0484	66	芥川純(1)	8日 似島収容所
HK0485	107	大浜芳徳(1)	6日 本通、学校焼跡搜索
HK0486	141	木下敏(1)	金輪島 大竹で死体確認
HK0487	157	佐々木浩一(1)	教室で死亡と推定
HK0488	158	佐々木一彦(1)	6日? 一中プール横に遺体

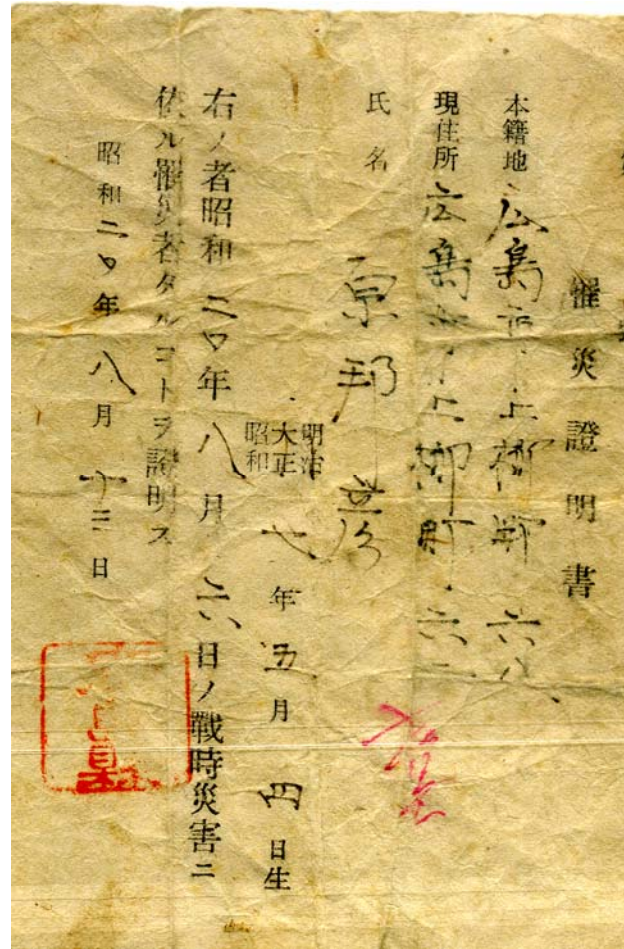
資料 番号	整理 番号	生徒氏名〈学年〉(出身校)	死亡月日・場所・備考
HK0488	162	佐々木亨(1)	8日 似島
HK0490	166	坂井喜照(1)	不詳
HK0491	205	伊達行雄(1)	金輪島 遺体
HK0492	206	竹内正司(1)(天満)	葉書なし メモ 一中まで帰る が以後不明
HK0493	229	中村克己(1)	一家6名全員死亡
HK0494	234	名島正幸(1)	6日 共済病院
HK0495	238	西野哲夫(1)	8日 日本製鋼所病院
HK0496	247	新見良三(1)	7日 金輪島
HK0497	268	平井成彦(1)	不詳 両親死亡
HK0498	307	村田進(1)	大河国民学校
HK0499	345	和田芳徳(1?)	28日
HK0500	346	和多野博(1)	日赤救護所 遺体

HK0501	返信葉書中状況の記載のないもの 94 通		
HK0502	状況の記述はあるが同様の内容がアンケート回答にも記入されているもの 68 通		
HK0503	宛先不明の返送 4 通		

以下の4名については、『ゆうかりの友』に記録されているが、アンケート回答も本欄の返信葉書もない			
HK0504	藤野二郎(1) 山本一生(1) 渡辺綱一(3) 吉村久(4)		
『ゆうかりの友』に記述なし			
HK0505	349	米川賢太郎	名古屋大学病院 8月26日

資料画像

画像1 原邦彦罹災証明書 (HK0006)





HK0029

わが子に平和を誓う

原爆記念日前に二つの慰霊祭



原爆記念日を前に当時広島一中生だったわが子のめい福を折る遺族 (国泰寺高で)

原爆記念日を前に広島市内で二
十一日、二つの原爆死没者慰霊祭
が行なわれた。ことしの慰霊祭の
トップで、市内の工場や建物疎開
作業中になくなった勤労学徒六千
余人のめい福を折った。
市内の二十一年旧制中学、女学校
の被爆勤労学徒五千柱の霊が眠る
のんだ。このあと夕方にかけて遺
族三千人が参拝、香煙ゆらいた。
同市国泰寺町一、県立国泰寺高
校の校庭にある旧広島一中犠牲者
の霊をまつる「追憶之
碑」前では午前十一時三十分から
一中遺族会(秋田正之会)の主
催で、遺族や生徒ら百二十人が集

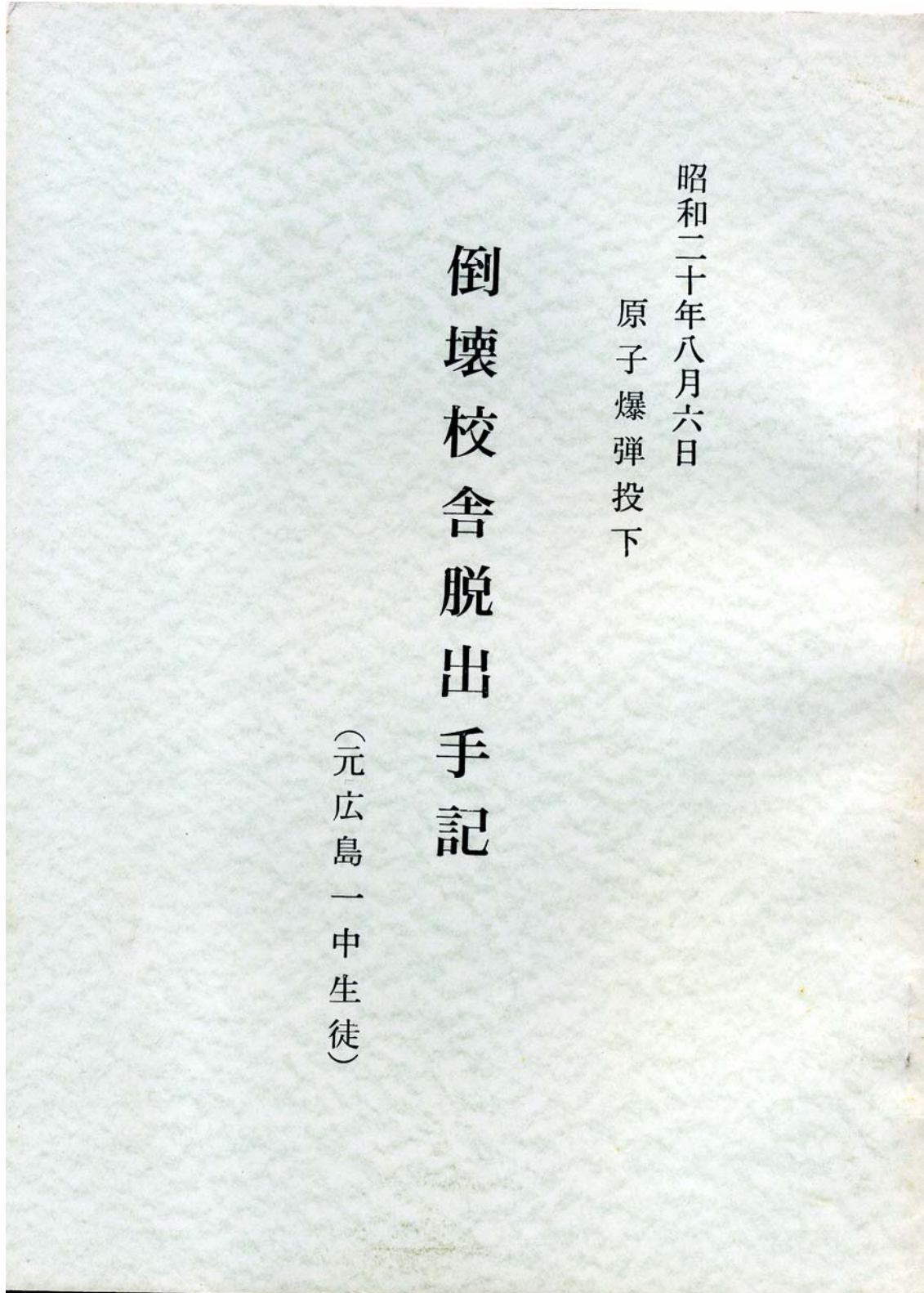
まり、二十三日目の慰霊祭。
当時広島一中の生徒は約千二百
人。あの日三百五十人の生徒(ほ
とんどが入学間もない一年生)と
十一人の職員が市内の建物疎開
現場と学校で被爆、欠席して
二次放射能を浴びて死んだ生徒も
含めこれまでに三百六十四人がな
くなり、被爆一年生は現在十五人
しか生き残っていない。
慰霊祭は善利同輪帯の誦経のあ
と遺族らの焼香、森田晴夫国泰寺
高校長の追悼のことばとつづいた
が、当時の一年生代表岡市大手町
が、当時の一学生代表岡市大手町
洋品商原邦彦さん三六が「あなた
がたとは欠乏と空服のなかでが
んばった。弁当をわち含った姿が
思い出される。わたしたちは平和
の灯をともしつけようと思いま
す」と追憶のことばを読み上げる
と遺族席のなかからすすり泣きの
声が出はじめ、目頭を押さる者婦
人の姿が目立った。一人づつ耕
三君(当時十三歳)をなくした山
県郡豊平町阿坂、農業石田守さん
(三三の妻イトノさん六九は「耕三
は学校で被爆、主人が自転車に急
ごしらえの安楽イスのせて帰る
途中死にました。二十三年前の八
月九日午前三時でした。わたしは
家にいましたが、いまでも、だだ

いまと空襲の戸をあけて帰って
くるのではないかと思ふときがあ
ります」と話していた。

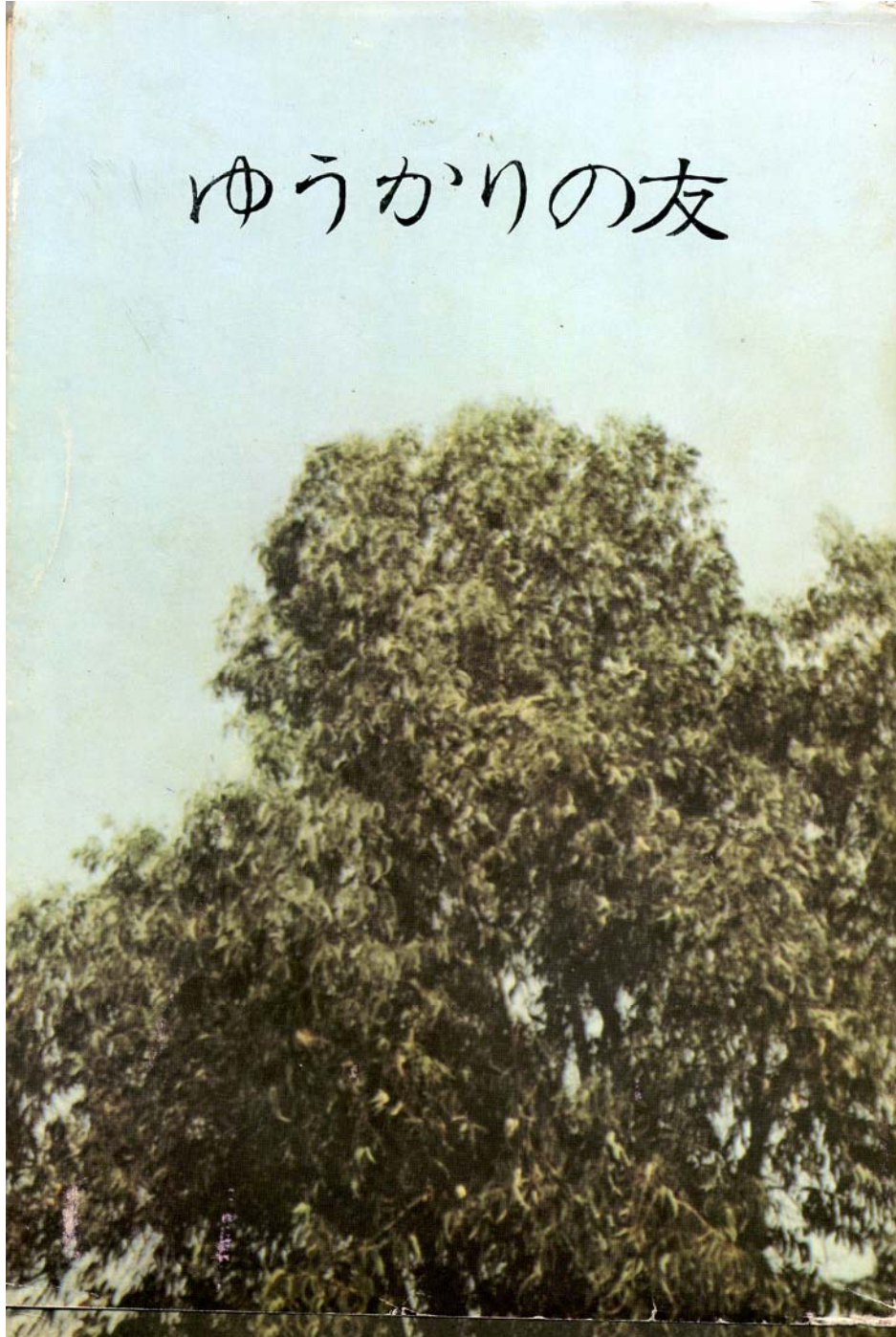
読賣新聞

昭和43年(1968年)
7月22日 月曜日
(日刊) 第5671号

画像4 『倒壊校舎脱出手記』（1966年再版）表紙（HK0003）



画像5 『ゆうかりの友』表紙 (HK0001)



画像6 父守夫所感〈画像5表紙裏貼付〉

折 きしいのち
残 さぬしいのち
ヒロシマの
あの日おもえは
胸 せまるなり

折

画像7 邦彦病床詠など（画像5裏表紙内に貼付）

病床詠

原 邦彦 遺稿

今日雨明日は晴よと思ふし日に中庭のつばはや散りにけり
 カリエスの患者は非心し病室に長き年月臥したまきりたり
 親切で笑顔絶やさぬ看護婦の白き制服美しきかな
 斗病の日々を重ねていつかさん今年ばかりは参るすべなし
 老父母を支えてまはふんとうし吾が倒れしを配もなく
 梅雨晴れの風さわやかに吹き渡り緑も言六月の樹に
 秋までに秋までにはと吾が病治る時も指折り教う
 夜も昼も絶やまず叫びもスリーまわりの者は夜も眠れず
 ものうまで叫びつけれしとスリー今日ほあなまで安けく眠る

暑き日に人二人死ぬ病棟が今日もせみだけジリジリと鳴く
 水を替えてさわやかにし池の中 鯉を生き生きとひねるかな
 うろなる日々を重ねてはや三月胸の病はなおもかわらず
 サルビヤは紅く咲きけり原爆を心焼けるあの日を憶い出させつ
 手年としむかえる原爆を心年経るごとく被爆者は泣く

原 守天

祈りし子の親しみ友にもの言へど涙にむせてこぼれをなす
 (五七五心)
 臨終の苦しみ床に耐え抱きてあああつきに息絶えにけり
 秋空の澄めるがごとく爽々きひとみふたへびついにかえらす (七五心)

画像8 『ゆうかりの友』出版を伝える新聞報道 (HK0033)



昭和49年5月26日 (日曜日)

ぬぐい切れない傷跡

同級生や遺族が手記

『後世に惨状伝えたい』
旧制広島一中生が被爆文集



旧制広島一中の生き残り
が出版した原爆記録「ゆう
かりの友」と原さん

「恐ろしい光と同時に机の下に
ふせたが意識を失った」また校
舎はくずぶつていて、多くは半焼
けの死体、いも畑でうめいている
者、水を求める声。いくつ探して
も子供はいなかった。旧制広島
一中の被爆生徒のうち生き残った
同級生たちが、原爆被爆当時の状
況を記した手記や遺族へのアンケートを文集「ゆうかりの友」
(B6判、三四十六頁)にまとめ、近く遺族らに贈る。わが子を
捜し求め、ついに遺骨さえ知らなかった遺族、生き残ったことを
むじろひしめいたと感じ続けた人。それぞれのぬぐい去れぬ傷跡
が記録されている。

せ。かく被爆後生きながらえな
から四十二年に白血病で亡くなっ
た同級生の追悼集に集まった同級
生が、「これを機に旧制一中の被
爆の実態を明らかにする記録を残
そう」と発案したのが文集作成の
きっかけとなった。発起人の一人
広島市本通り、洋品店経営原那摩
さん(右)が中心となり、同級生た
ちの手記を集め、亡くなつた旧友
の遺族一人一人に死時状況など
のアンケートを求めた。

旧制広島一中は、現在の広島市
国泰寺町一丁目、現国泰寺高校
にあり、校内では教職員十四人

い」と思い続けてきた人もいる。
四十五年前の原爆に遺族のアン
ケートはほぼまとまったが、原さ
んらは「今さらまとめ遺族に見
せるのはむしろ語ではないか」な
で、つらくおしい

傳を取録。旧制広島一中のシンボ
ルだったユーカリの木にちなんで
「ゆうかりの友」と名付けた。
原さんは「遺族の方々にまず届
けたい。しかし原爆を知らない若
い人に広く読んでもらう必要があ
るので、学校や図書館にも贈りた
い」と話している。

と痛むことが多かった。しかし集
めた以上やはり残すべきだと、整
理にかかった。
で、き上がった文集には、被爆の
翌年、生き残った生徒に当時の教
田猛雄校長がつけさせた「脱出手
記」、死亡した生徒、教職員の名

中国新聞

HK0033

旧友の苦しみのおと

旧広島一中同窓生が記録く

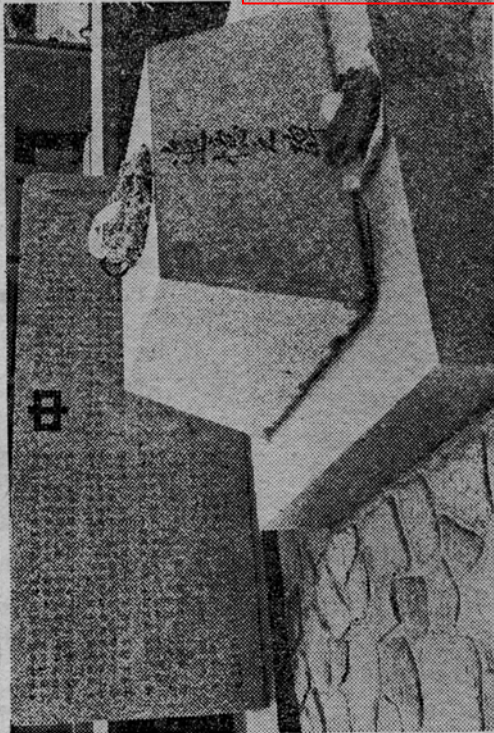
平和への誓いをこめて

原爆襲撃をされるまにまにも被爆者から呼びかけられた悲願。この悲願達成のためにはも、設立して旧広島一中二年生の生き残りの組が原爆の犠牲になった被爆者百余人の目的の行動を記録に残すこと。思いは、近く遺族を招待して「安んずる会」を開くことになった。

被爆後二十三年。生き残り組の一だった広島市千原町、中島清季さんが、この三月に被爆友の広島市千原町二丁目、医師菅田享さんごらに見えられて死んだ。

遺族に集まった生き残り組には、大きなショックを感じながら「われわれが死んでいることをお

昭和42年8月6日（日曜日）



互いに願うように話さうと、誓うこと。話がまごり、六月に中島さんの遺族と話を聞いた。話をきき合おうと、二十三年前に消えた被爆友のこた。「〇〇級〇〇君はあの時分と二階に居たが、途中で壊れた。〇〇君は似島に運ばれたはずだ」など古い記憶をたどりながら、多くの友を失い、その後学制改革や地区制実施など戦後の混乱期の中、はらはらした被爆友らは、十七、八年がりの機会に時を待たず話した。

その後、世居役の菅田さん、広島市本通り、俳聖園郭美さん、広島市若島本町、土居喜典さんら

が「あの日に消えた被爆友、その苦しみは行動をこめたか、今も記憶に残っていないのはどうしたか、われわれの手でできるものなら調査してみよう」と話した。被爆友の夢で、生き残ったものが死者の分まで、それだけの仕事をこめて平和のために働くこと。こめて遺族を招いて生き残りの記録をまとめるなら、遺族からその目的の行動を聞いて記録してあげようという誓い。

これまで生き残り組の少ないのは「われわれは生き残った」といって遺族への遺恨をもち、それが二十二年ほどは遺族を脅かす行為として行われてきた。これが原爆の悲願達成の一助ともなれば社会的意義もある」と証言をかねて語らることにした。

旧広島一中の旧制四年生から数えて十数年がたが、被爆友は、職業も年々二十年以上は市内内外の軍需工場に動員されては、その時分には一年生しかいなかった。それも本生被爆友がほとんどは、このころに学校の近くの民家の制錬や製錬作業に動員された。その日も朝七時半に被爆した生徒たちは、作業組と習組の二つに分かれ、十一、十三、十五等は作業へ、十二、十四、十六等は教室に残った。そして四十五分後、原爆襲

旧広島一中の遺族の碑。大隈石に刻まれた名前の中には、行く先不明のままのものもあり（広島市国奉寺高校内）

のとき、光は、当時の被爆者以下職員、生徒三百数十人の生命を奪い去った。

毎年、六月には旧広島一中（国奉寺遺跡）にある遺族の碑に、朝から遺族が訪れる。その碑の前には、しばしば手を膝をうたはせる遺族の言葉を伝える書札がかかっていた。

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

原爆に負けてはならぬ

被爆学徒が仲間の記録出版へ



遺族たちとの対話で集めた資料整理にいそがしい原邦彦さん
(広島市本通二丁目の自宅で)

あの日の悲慘を再現

遺族も励ましの言葉

三百五十数人の若い命を原爆で一瞬にして奪われた旧広島一中(現在の国泰寺西)の被爆生存者だが、今なお死の影におびやかされながら、あの時の仲間たちの悲惨な行動記録を出版しよう―と作業を進めている。これは、生存者の広島市本通二丁目、洋品店経営原邦彦さん(69)らが当時の仲間遺族たちと対話し、まとめた貴重な記録。

被爆当時、広島一中生は、一年た。教室に残っていて運ぶ助かる方に出た。月のまに光る太陽。吹出した血でシャツを真赤に染め、全身やけどの酷い。すべてが地獄だ。それからの苦しみ。頭が黒い。鼻から血が吹き出し、鼻をさぐると、口からも血のかたまり。手足はしびれくちびるのわん膜はぼろまじりに破れた。被爆した生存者には死の影がきまっていた。被爆九年六月後に三宮浩吉君。五年後に楠木班

全部と三年の一部が疎開作業、他つた原さんの脱出の様子は次のようなものだ。
「B2の爆音。光った。ものすごい音。気がついて見たら周囲は真っ暗。教室の大きなはりの下敷き。ただで一年生は全滅に近かった。

被爆当時、広島一中生は、一年た。教室に残っていて運ぶ助かる方に出た。月のまに光る太陽。吹出した血でシャツを真赤に染め、全身やけどの酷い。すべてが地獄だ。それからの苦しみ。頭が黒い。鼻から血が吹き出し、鼻をさぐると、口からも血のかたまり。手足はしびれくちびるのわん膜はぼろまじりに破れた。被爆した生存者には死の影がきまっていた。被爆九年六月後に三宮浩吉君。五年後に楠木班

被爆当時、広島一中生は、一年た。教室に残っていて運ぶ助かる方に出た。月のまに光る太陽。吹出した血でシャツを真赤に染め、全身やけどの酷い。すべてが地獄だ。それからの苦しみ。頭が黒い。鼻から血が吹き出し、鼻をさぐると、口からも血のかたまり。手足はしびれくちびるのわん膜はぼろまじりに破れた。被爆した生存者には死の影がきまっていた。被爆九年六月後に三宮浩吉君。五年後に楠木班

被爆当時、広島一中生は、一年た。教室に残っていて運ぶ助かる方に出た。月のまに光る太陽。吹出した血でシャツを真赤に染め、全身やけどの酷い。すべてが地獄だ。それからの苦しみ。頭が黒い。鼻から血が吹き出し、鼻をさぐると、口からも血のかたまり。手足はしびれくちびるのわん膜はぼろまじりに破れた。被爆した生存者には死の影がきまっていた。被爆九年六月後に三宮浩吉君。五年後に楠木班

画像 1 1 遺族へのアンケート依頼状 (HK0085)

残暑の候、皆様益々御健勝の事とお慶び申し上げます。

昨年、私達一中一年生生存者と一中一年生御遺族の皆様とのつどいを催しましたところ、多数御参集下さり、あらためて、当時の事が憶い出され、無役な原爆攻撃に対する云い様のない憤りと、前途ある少年の時代に亡くなられた犠牲者の方々への愛惜の念に明け暮れた一日を持つ事が出来ました。又、皆様から寄せられたお便りを拝見し、涙また涙、一同泣け泣けて仕方がありません。犠牲者の方々がお身を替って示された原爆の悲惨さ、この原爆を二度ゆるすならば、犠牲者のあの苦しみは絶対にむくられない苦しみである事を痛感し、生き残った私達の責任の重大さをしみじみ感じました。

今年も、遺族会の慰霊祭に参列させていただきまして、毎年毎年、年を経る毎に追憶がよりはっきりとよみがえって来る様な思いです。

当時、一中の校舎内で原爆に襲われ、その後の原爆症にも一命をとりとめた、生存者十八人の中からも、その後、新制高校三年生の時、楠木君が卒業の年、三谷君、そして生き残り、中島君、と原爆症による白血病の疑いのある病気で、亡くなれております。

私達生存者は、お互いの連帯を強め、強く助けあって、遺族の方々と手をたづさえて、生きて行きたいと思っております。

就きましては、一中教職員生徒、一人一人の原爆被災状況の記録をつかっておきたいと考えて居ります。何卒別紙アンケートにお便りをお寄せ下さい。なるべく十月末日頃までにお寄せ下されば幸と存じます。

どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

御遺族各位様

広島一中一年生原爆生存者一同

連絡先

730

広島市本通二一九ぬのや

(TEL)〇八三二四七二八八〇

原 邦 彦

画像 1 2 (1) アンケート解答用紙 (HK0086)
(実際の用紙は B 4 横 1 枚)

アンケート

戦没学徒氏名 学年 学級

出身小学校名

当時の住所

当時の学友名

遺族氏名 続柄

遺族現住所

当時の状況

1 入学から被爆までの思い出

2 被爆当時の状況＝脱出の経過、脱出時の友人の状況など

画像12(2) アンケート解答用紙 (HK0086)

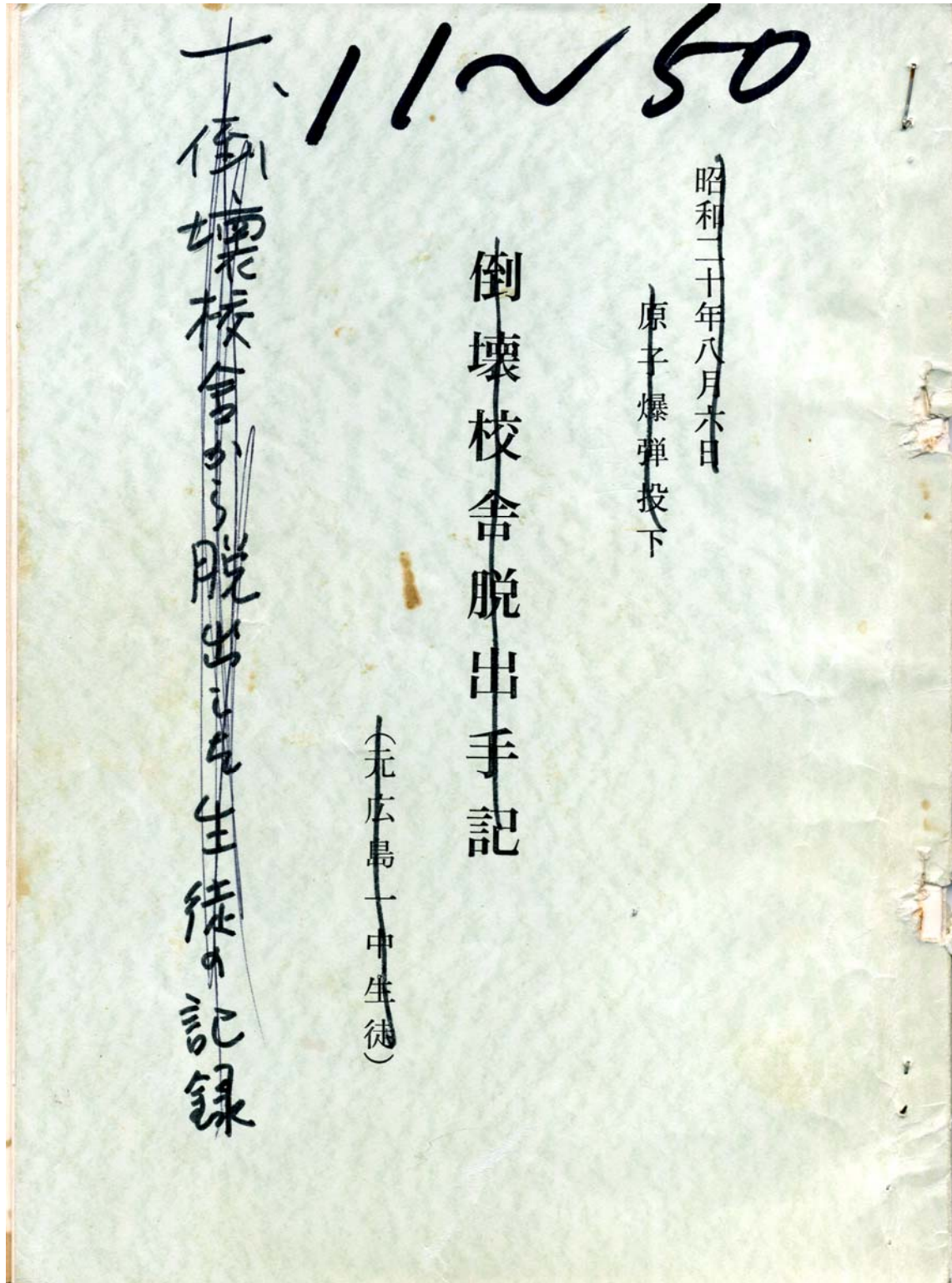
3. 熱傷の有無、外傷の有無

急性症状(脱毛、発熱、口内炎、斑点、下痢
嘔吐、出血など)の発現時期、経過など

4. 死亡時期

以上

画像 1 3 『倒壊校舎脱出手記』原邦彦の編集のあと (1)
(HK0004)



画像 1 4 『倒壊校舎脱出手記』原邦彦の編集のあと (2)
(HK0004)

No 11

脱出生徒の記録

一、脱出生徒手記 (昭和三十一年春) 広島一中第三学年の頃記す

(氏名) 藤井 康弘

(勤務先) 広島県庁

(出身校) 広島県安芸郡中野中学校 (園長) 出身

(被爆当時の学級) 第一学年第十四学級

(住所) 広島県安芸郡中野町中野六四五七

現在 広島県庁 勤務

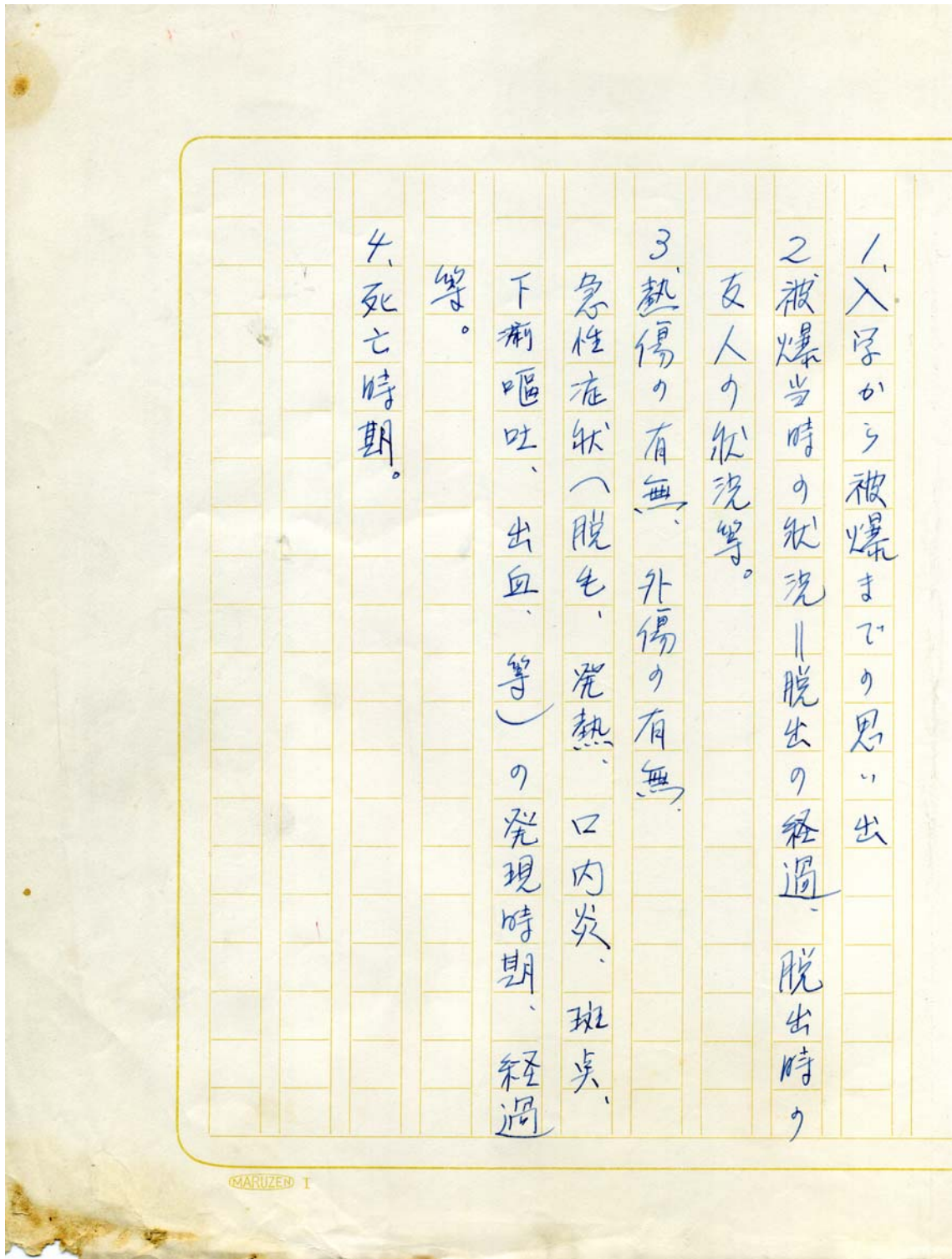
僕の家を出たのが六時十五分、六時四十何分の列車で広島に行き学校に行った。学校では川本、森、吉田の諸先生の指導のもとに、奇数の学級は作業に、偶数の学級はそれぞれの教室で、作業の交替をまっていた。するとしばらくして警戒警報に入った。そしてしばらくして解除となった。しかし飛行機の音は聞えていたように思う。まもなく黄色い光が光った。それきり何もわからなかった。

気がついた時には、四辺は真暗で何が何やら全くわからず、目をあげようにも痛くて開けられず、口はほこりのせいかいやにおかしくそのままじっとしていた。少したって、もう何も感じなくなっていたので、四辺を見廻すと小さな穴があったので机に腰掛けたまま、約四十五度に傾いた体をひきずりながら、小さな穴から出て行った。出たときには約二、三十人出ていた。その時もまだ暗くてどうすることも出来なかった。学級のを助けてやり、プー

—

文
探
本
1
36迄

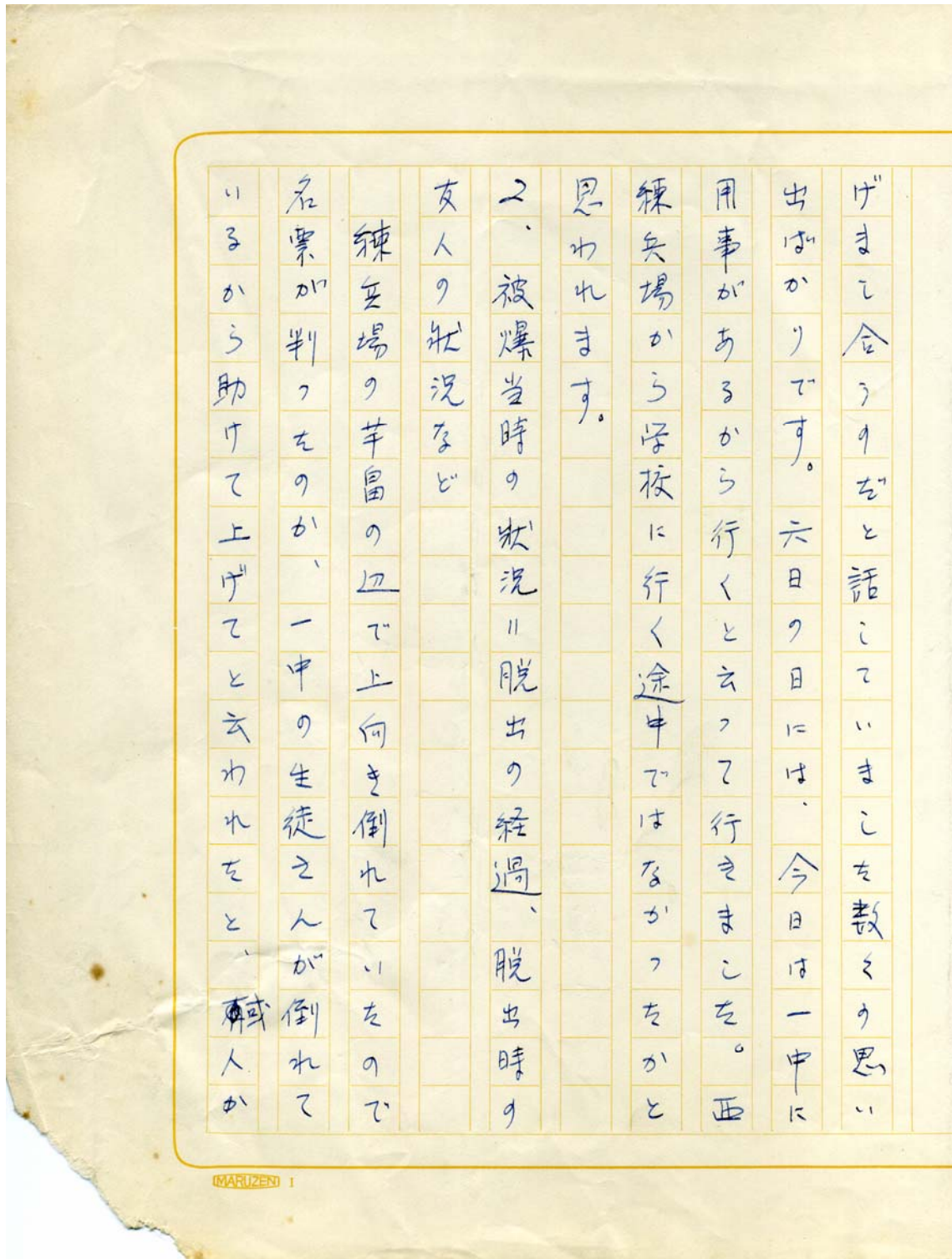
画像 1 5 a アンケート浄書原稿の例 (1)
 (実物はB 4用紙1枚)



画像15b アンケート浄書原稿の例(1)
 (実物はB4用紙1枚)

													御遺族からアンケート
当時の状況	(ハ) 遺族現住所	(ホ) 遺族氏名 籍柄	(ニ) 当時の学友名	(ヒ) 当時の住所	(ロ) 出身國民学校名	(リ) 戦没学徒氏名 学年 学校	ア	ニ	ケ	イ	ト		

画像16a アンケート浄書原稿の例(2)
 (実物はB4用紙1枚)



画像 1 6 b アンケート浄書原稿の例 (2)
 (実物はB 4 用紙 1 枚)

№52

を 唱 い 、 一 中 精 神 で い こ ま で も 頑 張 ろ う と は	勤 員 学 徒 と こ こ 工 場 に 働 か せ 、 一 中 の 校 歌	入 学 か ら 被 爆 ま で の 思 い 出	当 時 の 状 況	(ハ) 遺 族 現 住 所 広 島 市 御 幸 二 丁 目 四 一 二 三	(木) 遺 族 氏 名 江 川 さ よ 実 母	(ニ) 当 時 の 学 友 名 榎 木 頼 之	(イ) 当 時 の 住 所 広 島 市 西 白 島 町 四 五	(ロ) 出 身 小 学 校 名 広 島 市 立 横 町 小 学 校	(イ) 戦 没 学 徒 氏 名 江 川 隆 第 四 学 年
--	---	--	-----------------------	---	--	--	--	---	---

画像 17 『ゆうかりの友』 出納簿 〈部分〉 (KH0471)

MEMO		
5/26	封筒代	3,310.-
5/30	送料	390.-
5/31	"	110.-
6/4	葉書代	2,800.-
6/6	送料	770.-
6/6	九州凸版支払	200,000.-
6/7	送料	3,520.-
6/13	一家堂	5,900.- 2,900.-
6/16	九州凸版支払	100,000.-
6/19	送料	110.-
6/20	"	2,310.-
"	"	110.-
6/21	"	1,540.-
6/22	"	110.-
6/24	"	600.-
6/24	"	220.-
6/26	"	200.-
6/27	"	220.-
"	九州凸版支払	737,200.-
		(630,000.-) 赤字決済
8/9	切手代送料	600.-
"	送料 客車便	640.-
8/12	送料	440.-
8/20	送料	1,130.-

画像 1 8 济美学校校友会名簿 (Hk0460)

